

## 台湾の国語教科書と児童文学

成實朋子 (大阪教育大学)

### はじめに

台湾においては、国民党遷台当時の国語教育の要は、「国語」つまり北京語を共通語として徹底的に教育するということにあったが、2000 年に「国民小中学九年一貫課程暫行綱要」(学習指導要領に相当)が公布されるようになると、「本土語文(閩南語、客家語、原住民語などを含む)」が「国語」や「英語」と同様に学校教育の中に位置づけられるようになった。2019 年度からは、十二年義務教育の実施に伴い、「語文」の中に「新住民語文(東南アジア地域の言語)」が加えられた。グローバル化の進む現状において、台湾では、多文化・多言語教育への関心はますます高まっている。

そのような中で、小学校の国語教科書はどのように変化しているのだろうか。本稿においては、台湾で現在用いられている教科書の中から、康軒文教・翰林出版・南一書房の三社の教科書を取り上げ、そこにどのような教材が所収されているのかという現状を確認していきたい。なお、原文が中国語のものはすべて成實による訳をつけた。

### 1. 台湾の教育改革—国語科を中心に

2000 年まで台湾では日本の学習指導要領にあたるナショナルカリキュラムを「課程標準」と呼んできた。「課程標準」という言葉と概念は、国民党政権がまだ大陸にあった 1929 年に「小学課程暫行課程標準」を公布した際に使われて以来台湾の国語教育界で用いられてきたが、台湾教育部が教育改革に取り組む中で、「課程綱要」と名称を改め、2000 年、「国民小中学九年一貫課程暫行綱要」が公布された。

2000 年改訂の最も大きなポイントとしては、まずはそれまでは国民小学 6 年間と国民中学 3 年間で別々のカリキュラムであったものを、九年一貫として再構成したことにある。そしてその上で、小学校では 11、中学校では 21 あった教科数を大幅に削減し、新たに七つの教育領域として再編成した。新たに設定された学習領域は「語文(言語)」、「健康與(と)体育」、「数学」、「社会」、「芸術與(と)人文」、「自然與(と)生活科技」、「総合学習」である。

2014 年には、「十二年國民基本教育課程綱要」が公布され、2019 年から実施されるようになった。台湾教育部による特設サイト「108 課綱資訊網」([108 課綱資訊網](http://108課綱資訊網) | [十二年國民基本教育 \(12basic.edu.tw\)](http://12basic.edu.tw))によれば、これはこれまでの九年国民教育を延長し、十二年とするものである。十二年義務教育の導入に伴い、高校入試が廃止、状況に応じた学費も免除された。台湾では、小学校から高校までの連続性のある一貫した教育制度の構築が目指されることとなったのである。十二年国民基本教育においては、上記の学習領域の中の「芸術與(と)人文」が「芸術」に名称変更となり、新たに「科技(科学技術)」が加わり、八領域となった。(【資料 1】参照)。

【資料 1】からわかるように、台湾のカリキュラムの中では、「語文(ことば)」という一つの学習領域の中に、「国語文」と「本土語文/新住民語文」、そして「英語文」が含まれている。そのうち「国語文」というのが、北京語をもととした標準語としての中国語、「本土語文」というのは、日本統治時代以前に台湾に渡ってきたいわゆる本省人と呼ばれる漢族の人たちが話す台湾語、客家語、その他政府公認で十

六族存在するという原住民が話す言葉のことを指す。「新住民語文」というのは、1990 年代後半より急増した海外からの移民の言語という意味で、主に人口数の多い、ベトナム・インドネシア・タイ・ミャンマー・カンボジア・フィリピン・マレーシアといった東南アジア言語のこと指している。台湾では、1990 年代以降台湾在住の外国籍配偶者の数は増加するようになり、特に農村部を中心に東南アジア諸国と台湾男性とのカップルが目立つようになった。2004 年の統計によれば、台湾において同年結婚した人数 262906 名のうち、東南アジア籍の配偶者は男性が 921 名、女性が 17,182 名、圧倒的に台湾人男性と東南アジア籍の女性の婚姻数が多いことが分かる。ちなみに、2019 年に婚姻した人数は 270,806 名と結婚件数にあまり変動はないが、東南アジア籍の配偶者は男性 1149 名、女性 7600 名となっており、多少減少したが、東南アジア籍の女性と婚姻する比率はまだまだ高い<sup>1</sup>。

2000 年代に入り、こうした外国籍配偶者の子女が学齢期に達し、「新台湾之子」と呼ばれるようになった。「新台湾之子」は家庭内での中国語方面のサポートが不十分になりがちであり、学習上に困難を抱えることが多いとされる<sup>2</sup>。そのため学校や保育教育現場では「新台湾之子」への支援が急務となり、行政は無料の補習班等の学業面での手当を行うとともに、母親には「親子共読」等の活動への参加を促し、読み聞かせのトレーニングを行うようになった<sup>3</sup>。

【資料 1】台湾の小中学校のカリキュラムと授業時間数  
(台湾教育部「十二年國民基本教育課程綱要」より作成)

領域 学 習 課 程	教育段階	国民小学				国民中学				
	学年	第一学習階段		第二学習階段		第三学習階段		第四学習階段		
		一	二	三	四	五	六	七	八	九
語文		国語文(6)		国語文(5)		国語文(5)		国語文(5)		
		本土語文／新住民語文(1)		本土語文／新住民語文(1)		本土語文／新住民語文(1)				
				英語文(1)		英語文(2)		英語文(3)		
数学	数学(4)		数学(4)		数学(4)		数学(4)			
社会			社会(3)		社会(3)		社会(3) (歴史、地理、公民と社会)			
自然科学	生活課程(6)		自然科学(3)		自然科学(3)		自然科学(3) (理科、生物、地球科学)			
芸術			芸術(3)		芸術(3)		芸術(3) (音楽、視覚芸術、表演芸術)			
総合活動			総合活動(2)		総合活動(2)		総合活動(3) (情報科技、生活科技)			
科技							科技(2) (資訊科技、生活科技)			
健康と体育	健康と体育(3)		健康と体育(3)		健康と体育(3)		健康と体育(3) (健康教育、体育)			
領域学習時間数	20 時間		25 時間		26 時間		29 時間			

## 2. 台湾の「国語」教科書

そのような情勢の中で、小学校の「国語」教科書はどのようなものになってきたのか。台湾における九年義務教育は 1968 年に実施され、「国民小学暫行課程標準」が実施され、小学校教科書は一律で教育部の直轄機関である国立編訳館が編集と供給を行うことになった。1987 年に戒厳令が解除されると、教育の世界では小中学校教科書が議論に上り、1988 年二月の第六次全国教育会議において、小学校教科書の編集を検定制へとしていく方針が出され、1993 年に「国民小学課程標準」が出されるに及び、これに基づいた教科書が作られることとなり、小学校国語教科書は、1996 年から検定制となった。当初は国立編訳館も引き続き教科書編集を行い、民間のものと併せて検定が行われていたが、2000 年 6 月に教育部が「国民小学及国民中学教科書圖書審定弁法」が発表されると、九年義務教育期間の教科書はすべて民間の出版社による出版となった。国語の教科書は、検定制に移行直後は八種類あったが、現在では三種類の教科書が出版されている<sup>4</sup>。十二年義務教育に移行するのに伴い、小学校国語教科書は現在十二年義務教育対応のもの、九年義務教育対応のもの二種類がある。現在教科書は、2000 年に設立された国家教育研究院内に設置された審査委員会での検定を受けたのちに、正式に出版される<sup>5</sup>。

現在台湾で小学校国語教科書を出版しているのは、下記の三社である。それぞれの会社について、下記に簡単に説明しておく。

- (1) 南一書局：1953 年に設立。1970 年に本社を台南に移転、経営の主体を参考書の出版等に定める。1994 年から、教科書出版に参入、小中学校から高等学校までの教科書を出版している。
- (2) 翰林出版：1959 年に台南で設立。当初は参考書の出版を行っていたが、1991 年から教科書出版に参入、当初は体育・音楽・美術の教科書出版のみ行っていたが、1996 年から小学校の国語教科書の出版を行うようになり、1999 年から高等学校の教科書の出版を行うようになった。
- (3) 康軒文教：康軒文教の事業成立は 1988 年。前身は康和出版、本社は新北市にある。中国大陸や台湾各地に支店を置き、積極的に教科書出版を行っている。

教科書の選定は、国民教育法第八条の二に「国民小学校及び国民中学校の教科圖書は、学校の公務会議で定めた方法により、公開の上選ばれる」と定められてはいるが、それぞれの地方の事情によって、市区統一、学校一括採用、学校ごとの採用とそれぞれに違いがある。それぞれの学校で学年ごとに違う教科書が設定されている場合もある。

教科書の編集は各出版社とも編集委員会が作られ、合議の上作られる。いずれの出版社も小学校の教員、師範大学の教員、児童文学者を編集委員として招いている。

## 3. 台湾の「国語」教科書の児童文学作品

具体的に台湾の小学校国語教科書を見ていく前に、台湾の小学校国語教科書において使用されている文章の選定においては、どのような点に注意すべきであるとされているのであろうか、「十二年国民基本教育課程綱要」「陸・実施要点」「二、教材編選」では、教材は学習段階を考え、系統性を持って選び、編成することを基本とした上で、下記の原則を記している。

### 第一から第三学習段階（国民小学校教育段階）

第一から第三学習段階の教材編選は、国語能力の統整性（統合性）を強調し、閲読を軸に、聆聴（聞くこと）・口語表現（話すこと）・識字・写字（字を書くこと）・そして写作（書くこと）の教学を結合し、

全面的に児童の国語能力の発展を強化しなければならない。教材の編選上注意すべき原則は下記の通りである。

1. 第一から第二段階の教材は、自社の書下ろしあるいは既存の作品を編集したもの、第三段階においては、選文を原則とし、国内外の重要な作品を包括し、第四段階への接続を考慮しなければならない。第二・第三段階においては古典の詩文と本土素材を含まなければならない。
2. 毎号の教材数に絶対の規定はないので、選文の深淺・長短に照らし合わせ、各社で斟酌し調整を行う。各冊で三編以上の本文は、児童の自学用とする。五冊目からは、800 字以上 2000 字以内の長編の本文を選ぶこと。
3. 教材の編成は、閲読理解方略の認識と運用に適合したものでなければならない。第一学習段階では、注音符號教材を編成し、母語の差異が注音符號の発音及び学習に影響を与えることに配慮しなければならない。

(以下略)

選ぶべき作品内容はここでは具体的には定められてはいないが、末尾に付録として「議題学習目標」として下記の十九の議題が示されている。以下十九の議題の名称のみを列記しておく。

「性別平等教育 (ジェンダーイコール教育)」「人権教育」「環境教育」「海洋教育」「科技教育 (テクノロジー教育)」「能源教育 (エネルギー教育)」「家庭教育」「原住民族教育」「品德教育 (道徳教育)」「生命教育」「法治教育」「資訊教育 (情報教育)」「安全教育」「防災教育」「生涯規畫教育 (生涯設計教育)」「多元文化教育 (多文化教育)」「閲読素養教育」「戸外教育 (アウトドア教育)」「国際教育」

これらの議題は、台湾政府の政策や法律・規定と連動しているため、国語のみならず、他教科においても配慮することが求められている議題である。国語の教材内容が必ずしもこれら十九の議題に対応していなければならないというわけではないが、どのような内容のものを選ぶのかといった時の内容面において、一つの指針となっていると言うことはできるだろう。

#### 4. 三社の小学校「国語」教科書について

では具体的に三社の国語教科書の内容について、それぞれ (1) 中国語圏 (台湾を含む) の児童文学について、(2) 翻訳児童文学について、(3) 伝統的な言語文化に関するもの (古典・昔話含む) について見ていきたい。

##### (1) 中国語圏 (台湾を含む) の児童文学について

○主に掲載されているジャンルについて

児童文学の作品は国内外のものを問わず、短い童話形式のものが主流になっており、上下に分かれた教科書は、一冊ごとに四つの単元に分かれ、一つの単元に二つから三つの教材が含まれ、「來閲讀 (読んでみましょう)」や「閲讀列車」等と題された発展教材も含めて、一冊につきおおむね十五編程度で構成されている。

低学年においては「童詩」と呼ばれる児童向けの詩歌が中心である。これは漢字の学習を目的とし、リズムに合わせて音読する中から、漢字が学べるように構成されているためである。台湾の小学生が学

ぶ漢字の字数は六年間で約3000字と日本の約三倍にのぼる。小学校国語教科書で使用されているのは漢字の他に音を表す注音字母があるが、これはあくまでも音を表すものであって、ひらがなのように代替的に用いるわけではない。多くの教科書には「首冊」として注音字母だけで書かれた教科書があり(図1参照)、入学時点においてはこれで学ぶが、低学年のうち、効率的に、漢字を多く習得することが中心となるのである。

中学年にかけて「故事」と呼ばれる簡単な物語や童話等の形式が増え、高学年になると小説、そして「散文」が中心となってくる。

中国語圏における文芸としての「散文」は、日本語の意味とは異なり、韻文ではなく、そして小説や戯曲等を除く随想や雑文、ルポルターージュを指す独自のジャンルを表すものである。「散文」という文章の表現形式は、唐の中期以降八世紀末から活躍した韓愈に端を発するが、時代が下っても、美文としての小品との意味があり、文章の模範を示すものとなっている。そのため、小学校段階における文学の中心的な領域としては「散文」が重んじられるということになり、教科書には数多くの「散文」が載せられているのである。



【図1】翰林(2021年)出版首冊の1頁  
注音字母を先頭のㄌㄌㄌ (bopomo) から  
教えている。

#### ○掲載数の多い作家 林良と李潼

三社の教科書に載せられている教材の詳細については巻末のリストを参照されたいが、三社の教科書に共通し、かつ複数の教材が採択されている作家としては、林良・李潼・王文華・桂文亜・張嘉驊・郝廣才・向陽の七名がいる。この中でも林良の採択数が最も多く、童詩が七編、故事や童話が三編、散文三編、翻訳一編の合計十四編が採択されている。

林良は台湾児童文学・国語教育を代表する人物である。

林良(1924~2019)は、福建省出身で、1946年に国語推進委員として台湾に渡り、1948年に『国語日報』出版に従事して以降、『国語日報』等児童向け出版物の出版に携った。1950年代より児童向けの読物の執筆をはじめ、童話・童謡・散文・絵本等幅広く執筆を行い、国語教科書の執筆・編集にも従事した。台湾の小学校国語教科書は、先述したように1996年から検定制となったが、林良は国立編訳館時代から国語教科書に関わっている<sup>6</sup>。林良の名義で現在教科書に載って教材の中にも国定教科書時代に書き下ろされたものである。例えば康軒(2018)4年上に掲載されている「阿里山上看日出(阿里山で日の出を見る)」は、台湾の景勝地・阿里山への旅行記であるが、同じものが1991年出版の国立編訳館編『国民小学国語課本』第七冊にも掲載されており、これがもともと国定教科書教材として書き下ろされたものであることがわかる。この教材のように、国定教科書教材であったものが現在も使用されている例は現在も幾つか確認されるが、その数はどんどん少なくなっている。

次いで教材数が多いのが、詩では向陽(7編)、散文では李潼(7編)である。向陽(1955~)は台

湾を代表する現代詩人であるが、童詩の執筆も多く、2000 年に書かれた彼の「臺灣的孩子 (台湾の子ども)」は、多くの教科書で採択された。次に挙げるのがこの詩の第一連である。

臺灣的孩子 (台湾の子ども) / 在淡水河邊歌唱 (淡水河のほとりで歌う)  
海峽的風拂動他們的衣裳 (海峽の風は彼らの衣装をはためかせ) / 為他們打造的城市正逐漸茁壯 (彼らのために作られた都市がだんだん成長していく) / 湛藍的天空俯瞰他們細小的足跡 (真っ青な空は彼らの小さな足跡を見下ろし) / 美麗的世界等待他們開創 (美しい世界は彼らが作り出すのを待っている)

以降この詩は、濁水溪旁 (濁水溪のそば)、高屏溪上 (高屏溪の上) と転じていく、台湾海峡から中央山脈、嘉南平原と台湾全土の自然のもとに育つ子どもたちに対して、未来への期待と希望を歌い上げるのである。この詩は現在も康軒 (2018) と南一 (2021) の四年下に収められており、二十一世紀の台湾国語教育を象徴的に表す詩となっている。

一方で散文を代表するのが、李潼 (1953~2004) である。李潼は台湾の花蓮に生まれ、後に台中へ、そして宜蘭に転居。1980 年代に専門の児童文学作家に転身した。故郷台湾をモチーフとした少年小説に定評がある<sup>7</sup>。代表作『カバランの少年』(1991) は、台湾の原住民文化をモチーフとしたタイムファンタジーで、日本でも翻訳出版された (1998)。李潼は台湾の少年小説の代表的作家であるが、台湾の小学校国語教科書三社すべてに李潼の散文 (エッセイ)・短編小説が載っている (6 作品)。以降に挙げるのが、現在各教科書に掲載されている彼の教材名である。

南一: 「熱荔枝 (熱いライチ)」 (4 下) / 「做人做事做長久 (やるならずっと続ける)」 (5 上) / 「努力愛華 (努力そして青春を愛する)」 (6 下)  
翰林: 「老榕樹下讀報紙 (ガジュマルの木の下で新聞を読む)」 (4 上) / 「收集喜悅 (集める喜び)」 (6 下) /  
康軒: 「油條報紙. 文字夢 (新聞を読む、文字の夢)」 (6 下)

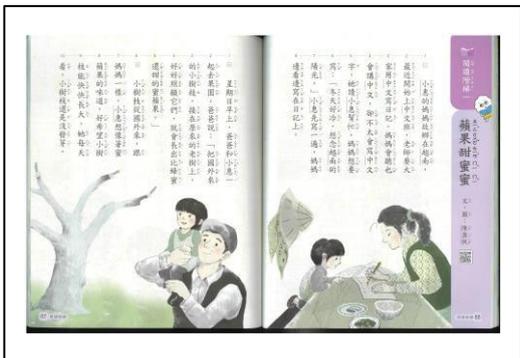
教科書教材となっている彼の作品は台湾を舞台とし、自身の少年時代を題材としたものが多い。例えば、「老榕樹下讀報紙 (ガジュマルの木の下で新聞を読む)」は、小学生だった李潼が祖父に新聞の読み聞かせをした思い出を書いたものである。なぜ李潼少年が新聞の読み聞かせをしたかと言えば、祖父の世代は日本語世代であり、戦後に公用語となった北京語を解さなかったからである。この物語の背景には、世代間で分かる言語が違ってしまっているという台湾の複雑な歴史が潜んでいる<sup>8</sup>。現行の台湾の小学校国語教科書の教材の作者は、翻訳者を除けば、ほとんどが台湾の作家である。近代作家としては、許地山 (1893年~1941年) の「落花生」 (翰林・6 下) と朱自清 (1898年~1948年) の「春」 (南一・6 下) が掲載されているが、この両名のうち許地山は台湾出身の作家であるということもその理由であろう。モチーフとしても台湾での出来事・風土・人物 (在外台湾系華人も含む) を扱うことが多く、こうした意味では、李潼はその代表的な一人であると言える。彼の作品の中に描かれる台湾は、どこか懐かしくノスタルジックでありながら、台湾が置かれている複雑な社会状況を背景としているのである。

### ○原住民と新住民

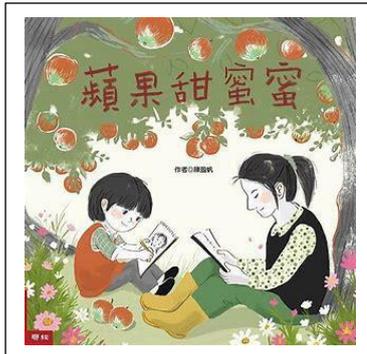
近年の傾向としては、原住民作家の教材が増えているということも指摘しないわけにはいかない。たとえば、台湾先住民であるパイワン族の作家・亞榮隆撒可努による「山豬學校・飛鼠大學 (イノシシ学校・モモンガ大学)」(康軒 5 下) や「煙會説話 (煙は話ができる)」(翰林 5 上)、ヤミ族出身の海洋文学の作家・夏曼藍波安による「海洋朝聖者 (海洋の聖者)」(南一 5 上) 等である。他にも「把愛傳下去 (愛が伝わっていく)」(康軒 6 下) は、映画「セデック・パレ」(2011 年) で主役モーナ・ルダオの青年時代を演じたタイヤル族の青年・林慶台に関する説明的文章であり、「卑南族男孩的年祭 (卑南族の男の子たちのお祭り)」(康軒・2 上) と「巨人傳説 (巨人の伝説)」(翰林・3 下) は、いずれも原住民に伝わる民間故事 (昔話) をもととしたものである。

新住民をモチーフとするものも増えている。例えば、陳盈帆による『蘋果甜蜜蜜 (甘い甘いりんご)』(康軒 3 下) は、同名絵本をもととしたものであるが、ベトナム人の母親との関係が物語の展開上の重要なモチーフとなっている (【図 2】 【図 3】 参照)。他にも説明文ではあるが「水上木偶劇 (水上人形劇)」(康軒・2 上) は、お母さんの故郷であるベトナムを訪問する内容。「美味的一堂課 (美味しい授業)」(翰林・2 上) はベトナム春巻き作り方の授業をお母さんにしてもらった内容となっている。

前述したように、現在の台湾の国語教育では、「語文」という一つの学習領域の中に、「国語文」と「本土語文／新住民語文」を含むなど、華語 (標準中国語・北京語) を母語とする者だけを対象とするわけではなく、その影響が教材の内容にも色濃く反映されるようになっているのである。



【図 2】 陳盈帆による『蘋果甜蜜蜜 (甘い甘いりんご)』 (康軒 3 下)



『蘋果甜蜜蜜』 (二版) (聯經出版公司)  
2011 年ボローニャ入選絵本。

### (2) 翻訳児童文学について

翻訳されたものの掲載はさほど多くはなく、全体で約 40 篇ある。うち採択数の多いものを数の多い順に以下に列記する。

#### ○オー・ヘンリー (歐・亨利) 3 編：

「最後一片葉子 (最後の葉)」 (翰林・4 下) / 「永不掉落的葉子 (最後の葉)」 (康軒・5 上) / 「耶誕禮物 (イエスの贈り物)」 (南一・5 上)

- 「ファーブル (法布爾) 昆虫記」 3 編：  
「角力士糞金龜 (力持ちのフンコロガシ)」 (翰林・5 上) / 「蜘蛛的電報線 (蜘蛛の電話線)」 (康軒・5 下) / 「熱愛昆蟲的法布爾 (昆虫を熱愛するファーブル)」 (翰林・3 下)
- イソップ寓話 2 編：  
「老鼠和獅子 (ネズミとライオン)」 (康軒・1 下) / 「狐狸的故事 (狐の物語)」 (康軒 3 上) /
- サンテグジュペリ (聖修伯里) 『星の王子様』 から 2 編：  
「飛行員和小王子 (パイロットと星の王子様)」 (翰林・3 下) / 「奇特的朋友 (大切な友達)」 (康軒・3 上)
- コナンドイル (柯南・道爾) シャーロックホームズから 2 編：  
「擅長推理的人 (推理にたけた人)」 (翰林・5 上) / 「偵探福爾摩斯 (名探偵ホームズ)」 (南一・6 下)
- アンデルセンから 2 編：  
「国王的新衣裳 (王様の新しい衣装)」 (康軒・2 上) / 「醜小鴨 (みにくいアヒルの子)」 (翰林・2 下)
- フォレスト・カーター (佛瑞斯特・卡特) 『少年小樹 (リトル・トリー)』 より 2 編：  
「大自然的規則 (大自然の規則)」 (南一・6 下) / 「小樹 (リトル・トリー)」 (康軒・5 上)

オー・ヘンリーやイソップ寓話・ファーブル昆虫記と、ラインナップとしては少しクラシックなものが多い印象である。他にも「快樂の油漆工 (たのしいペンキ屋さん)」「(トムソーヤの冒険)より、南一・4 上)や「少年筆耕」(『クレオ』より、南一・6 上)、プーシキンの童話「漁夫和金魚 (漁夫と金魚)」(康軒・3 下)、シェル・シルヴァスタイン「愛心樹 (おおきな木)」(康軒・4 下)、「唐吉訶德 大戦風車 (ドンキホーテ 風車との大戦)」(翰林・6 下)と三社いずれおとらずいわゆる「世界名作」を中心としたラインナップである。

そのような中で日本に由来するものは以下の 6 篇が認められた。

#### ○詩

- ・宮沢賢治「我願 (雨ニモ負ケズ)」(康軒・6 上)
- ・川路柳虹「往夢想前進 (夢に向かって進む)」(康軒・4 下) \* 川路柳虹「望黎明 (暁を見るために)」

#### ○童話・小説・散文

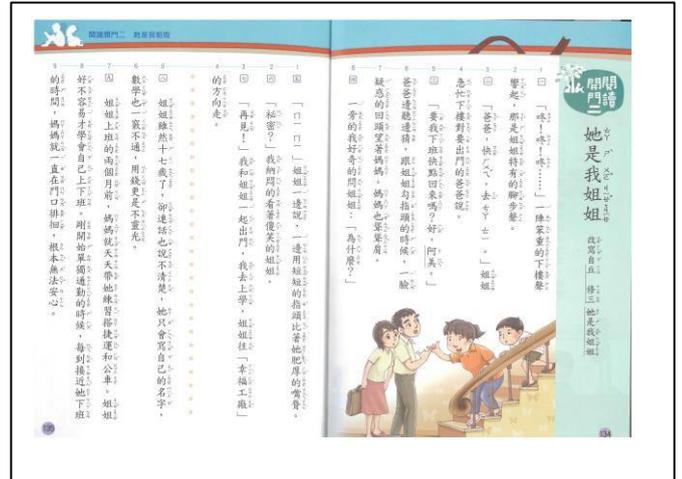
- ・新美南吉「小狐狸買手套 (手袋を買いに)」(康軒・3 下)
- ・丘修三「她是我姐姐 (ぼくのお姉さん)」(康軒・4 下)
- ・夏目漱石「大戦年糕妖魔 (餅の魔)」(南一・5 上) \* 『吾輩は猫である』より
- ・向田邦子「紀念照 (記念写真)」(南一・6 上) \* 『父の詫び状』より

この他にも、周姚萍『傳遞幸福的動畫大師—宮崎駿』から改編した宮崎駿の伝記・「宮崎駿的想像之泉 (宮崎駿の想像の泉)」(翰林・5 下)・台湾在住のエッセイスト木下諄一による「根本没想到 (思いもよらない)」(南一・5 下)が載っている他、読書感想文の指導用として島田洋七『佐賀的超級阿媽 (『佐賀のがばいばあちゃん』)』(南一・5 下)が紹介されている。また南一・2 下に掲載されている金焯 (キムファン) による「樹上的小房子 (木の上の小さなうち)」という科学読み物は、日本で出版された絵本『すばこ』(ほるぷ、2016 年 4 月)をもととしている。康軒から 2021 年に教材化された「還要跌幾次 (まだ幾度か転ぶ)」(3 下)は、日本でも教科書の定番教材

となっている韓国民話「三年とうげ」である。このように、外国語からの翻訳文学の中で、日本の占める割合はそれなりに高く、台湾における教科書作りに日本に関するものが参考にされていることがうかがえる。

宮沢賢治・新美南吉・夏目漱石といったラインナップは、他の国のものと同様に「世界名作」を紹介するという趣旨で選ばれているのであろうが、現代作家の作品では、少し違った扱いとなる。

例えば、康軒・4下に掲載されている丘修三の「ぼくのお姉さん」である。「ぼくのお姉さん」は、障害を持つ姉「ひろ」が働いて得たはじめてのお給料で、家族に食事をふるまうという物語だが、この教科書版では、物語の舞台が台湾に変更されている。主人公の名前も「ひろ」から「阿美」へ、二学期制の台湾では、春に就職するというわけではないから、物語の季節も春から初夏へと変更された。物語の長さは約半分になり、筋立て中心に書き直されている。このような書き換えから判断



【図4】「她是我姐姐(ぼくのお姉さん)」  
(康軒・4下)

障がいのある阿美のセリフは注音字母で書かれている。

するに、同作は日本の児童文学であるということの評価して翻訳紹介されたというわけではなく、障がいを持った人物が活躍する話であり、人権教育に資する話であるから選ばれたということが分かる。

### (3) 伝統的な言語文化(民話・古典)に関するものについて

#### ○民話・故事の教材について

民話(民間故事)や神話・伝説に関する教材はさほど多くはなく、以下の八作品だけが確認された。

- ・作者名無し「勇士射太陽(勇士が太陽を射る)」(康軒・2下) \*中国神話「金の太陽銀の太陽」
- ・洪汎濤「神筆馬良(神筆のマーリャン)」(康軒・2下) \*中国民話
- ・作者名無し「還要跌幾次(まだ幾度か転ぶ)」(康軒・3下) \*韓国民話「三年とうげ」
- ・鄒敦怡「聰明的鼠鹿(かしこい鼠鹿)」(康軒・3下) \*インドネシア民話
- ・周理慧「石頭湯(石のスープ)」(南一・3上) \*ヨーロッパ民話
- ・作者名無し「玉兔搗藥(兔が薬を搗く)」(翰林・2下) \*漢樂府『董逃行』中国伝説を童詩形式にリライト
- ・岑澎維「老鼠老鼠嫁女兒(ネズミの嫁入り)」(翰林・3上) \*中国民話
- ・子魚「不可以翻魚(魚をひっくり返してはいけない)」(翰林・6下)  
\*中国新疆の昔話・阿凡提(アフアンティ)を劇として再話

台湾に由来する民話の掲載は無く、広く中国民話の類を中心に掲載されていた。民話教材の掲載が少ない代わりに、故事成語や道教・仏教・中国古典に由来する故事を数多く掲載されていた。

- ・道教・仏教に由来するもの：林哲璋「門、門大仙(門大仙と門大仙)」(翰林・2上) / 「猴子撈月亮(サルが月を

すくう)」(南一・2下)

- ・故事成語等に由来するもの:「竹頭木屑(役に立たないもの)」(翰林・3下)/劉漢初「猴子的數學(サルの数学)」(翰林・3上)/王家珍「畫龍點睛(画竜点睛)」(翰林・3下)/心動不如行動(思い立ったらすぐ動く)(康軒・4下)
- ・中国古典に由来するもの:陳麗雲「大象有多重?(象はどのくらい重い)」(康軒・2上)/「橘化為枳(橘、カラタチと化す)」(翰林・6下)\*『晏子春秋』/「楊修猜字(楊修の字あて)」(南一・3下)\*『世説新語』/劉義慶「小時了了」(南一・6下)\*『世説新語』/蒲松齡「戲術」(南一・6上)\*『聊齋志異』/「完璧歸趙」(康軒・4上)\*『史記 廉頗・藺相如列伝』/「折箭(弓を折る)」(南一・5上)\*北宋司馬光『資治通鑑』
- ・中国の伝統文化に関するもの:「工匠之租(匠の租)」(康軒・3下)\*魯班のエピソード、王文華「拔不起來的筆(抜けない筆)」,「還差一點(まだ少し足りない)」(翰林・3下)\*いずれも王羲之と息子・王献之の逸話/石麗蓉「韓信分油(韓信油を分ける)」(翰林・3下)\*漢の時代の大将軍・韓信の逸話

こうした故事は台湾に限らず、広く中国語圏で知られているものである。このように、台湾では、こうした中国語圏の伝統文化に属する故事が、数多く掲載されているのである。

### ○漢詩

漢詩はいずれの出版社も掲載数が多いが、低学年の時にはそれをモチーフとした物語として読むことが多く、漢詩そのものの読みを味わうのは高学年になってからとなる。以下、各社に掲載されている漢詩の教材である。

南一:「一字師」(2上) \*晩唐の時代の僧齊己の「早梅」がモチーフ/「漫遊詩情 李白」(5上) \*李白「觀放白鷹」 王安石「梅」/「一針一線縫進母愛(人針ずつ縫いすすめる母の愛)」(5下) \*孟郊「遊子吟」/辛棄疾「清平樂村居」(6下)

翰林:康逸藍「詠鵝(白鳥を詠む)」(2上) \*駱賓王の詩の紹介/元日(3下) \*宋・王安石/「憫農(農を憐れむ)」 \*李紳「粒粒皆辛苦」/「遊廬山有感(廬山に遊びて思う)」(4下) \*宋・蘇軾「題西林壁」/「古今西湖詩選(古今の西湖の詩)」(5上) \*蘇軾,劉大白/「春天的雨(春の雨)」(6上) \*王駕,韓愈

康軒:陶淵明「桃花源」(6下) /「湖光山色」(5下) \*宋・蘇軾「飲湖上初晴後雨」「題西林壁」/「想念的季節(思いをはせる季節)」(5上) \*王維「送別」等/馬景賢「秋江獨釣」(5下) \*紀曉嵐(清代)/孟浩然「過故人莊」(6下)

紹介されている漢詩は、宋代以降の形式が安定してからのものが多く、変則的な読みのものは基本的に無い。景色をうたったものが多く、廬山や西湖といった中国大陸の景勝地が数多く取り上げられている。

### ○小説について

古典小説についてはいずれも高学年からの取り扱いとなり、件数は少ない。またいずれもリライトされたものである。中でも一番多いのが「西遊記」を由来とするもので、「孫悟空三借芭蕉扇」が南一(4上)と翰林(4下)で取り扱われていた。それ以外としては『三国志演義』を由来とする次のものの掲載があった。

南一(6下)「火焼連環船」\*赤壁の戦い  
翰林(6上)「煮酒論英雄(酒を爛して英雄を論ずる)」  
康軒(6上)「空城計」

いずれの小説もリライトされていて、中国の古典として読まれているというよりは、中国語圏に広く伝わるものを分かりやすく紹介しているといった様子である。【図5】は、南一(6下)の「火焼連環船」であるが、カードゲームを思わせるイラストを用いてキャラクターが分かりやすく紹介されている。南一(6上)には、金庸<sup>9</sup>の『神鵰俠侶(邦題:神鵰剣俠)』をもととした「黄蓉智退霍都(黄蓉、霍都を智退す)」も載せられている。ただ彼の作品は歴史というよりは、時代小説の類に属するものである。金庸の武侠小说に見られるような中国語圏に広く知られるものを足掛かりに、中国古典の世界に誘おうという姿勢が見られる。



【図5】南一(6下)「火焼連環船」



【図6】「黄蓉智退霍都(黄蓉、霍都を智退す)」

以上見てきたように、伝統的な言語文化に関わる領域においては、中国伝統・中国古典に由来するものが多数載せられており、これらが台湾の国語教科書の重要なコンテンツとなっているということが分かる。これは童詩や散文といった児童文学が明らかな台湾志向を見せていたこととは相反するものである。しかしながら、ここに紹介された中国伝統・中国古典に由来するものは、特に系統だっているというわけではなく、難度もそう高いものではなく、中国大陆や台湾だけではなく、香港やマレーシア・シンガポールといった中国語圏、海外の華人世界においても広く共有されるものである。翻訳教材において世界名作の類が多数取り上げられていたことと同調するように、特定の領域や地域だけではなく、広範で基礎的な教養を身に付けることが意図とされているラインナップであると言えるのではないだろうか。

### おわりに 台湾の教育改革の中で育成される「核心素養」

東アジア諸地域の国語教育においては、これまでは「何を学ぶのか」というコンテンツを中心として形成されてきたが、今日においては、「何ができるようになるか」というコンピテンシーを中心に各地域で改革が進んでいる。こうした動きは 1990 年代後半から 2000 年代初頭において行われた OECD (経済協力開発機構) の DeSeCo (コンピテンシーの定義と選択) プロジェクトで定義されたキー・コンピテンシー (Key Competency) や、これを理論的な支柱とする PISA (国際学習到達度調査) の普及によって加速さ

れてきた。

中国や台湾といった中国語圏の諸地域における国語教育改革においては、図らずもいずれも同じく「核心素養」という言葉をキーワードとした教育改革が図られている。核心素養とは、先にあげたキー・コンピテンシーの訳語であるが、いずれの地域においてもこれを基に、生涯教育を視野に入れた教育課程が設計されている。

現在台湾では、9 年間の義務教育に高校等の 3 年間をプラスした「十二年国民基本教育」という十二年一貫義務教育が施行されており、それに伴った新しい課程綱要 (日本でいう学習指導要領) 『108 課綱』は 2019 年から順次正式施行されている最中であるが、その中核となっているキーワードがまさに「核心素養」である。台湾の『108 課綱』の中では、「核心素養」とは「是指一個人為了適應現在生活及面對未來挑戰，所應具備的知識、能力與態度 (一人の人が現在の生活に適應し、未来への挑戦に対し、備えた知識を以て対応する能力及び態度)」<sup>10</sup>と規定されている。台湾の小学校国語教科書は、まさにこの目的にかなったものとなっていることが分かる。台湾の子どもたちに向けた小学校国語教科書は、「郷土」としての台湾に根差し、台湾の現代社会の抱える問題を見据えて、世界と中華圏に共通する教養を携えた人材の育成を目指していると総括することができるのではないだろうか。

---

<sup>1</sup> 台湾内政部統計処の内政統計查詢網での統計による [内政統計查詢網 \(moi.gov.tw\)](http://moi.gov.tw)。ちなみに大陸出身者との婚姻においても、男性 833 名に対し、女性が 6111 名と同様の傾向が見られる。

<sup>2</sup> 沈佳憶は「新移民家庭子女生活及學習現況分析」(第 41 期 2012-06 [國家教育研究院電子報 \(naer.edu.tw\)](http://naer.edu.tw)) の中で、新移民の家庭の子女の成績が振るわない主要な理由に、母親の中国語識字能力の不足と国語能力の不足が間接的に学業成績に影響を与えているとしている。

<sup>3</sup> 「新台湾之子」を多く抱える地域や学校では、読書活動を行う際にテーマとして多元文化の素材のものを扱うことも多く、これを受けて児童文学の領域でも同様のテーマが増えている。

<sup>4</sup> 林文寶 『臺灣國小語文教材與兒童文學關係之研究』(萬卷樓、2017 年 2 月) 166 頁

<sup>5</sup> 林文寶 『臺灣國小語文教材與兒童文學關係之研究』情景書、219 頁

<sup>6</sup> 林良は 1977 年より国語教科書編纂に関わり、主に三四年生の教材を担当し、執筆したという。『水果們的晚會 當國語課本遇上兒童文學 展覽手冊』(台北市中山堂管理所、2019 年 5 月) 6 頁参照。

<sup>7</sup> 桂文亜主編『呼喚 李潼少年小説的声』(民生報社、2003 年 5 月) 3 頁

<sup>8</sup> 李潼の作品については、石野樺琳「台湾の小学校「国語」教科書における李潼作品について」(『中国児童文学』第 27 号 (2021 年 10 月) も参照されたい。

<sup>9</sup> 金庸(1924 年～2018 年)は香港出身の武侠小説家であり、彼の武侠小説は中国語圏で広く読まれている。

<sup>10</sup> [l2basic.edu.tw/l2about-3-1.php](http://l2basic.edu.tw/l2about-3-1.php)

## 【資料4】台湾の小学校国語教科書に載った児童文学作品

成賞朋子作成

### 【凡例】

・出版社は翰林・南一・康軒の順に示し、括弧内に出版年を示した。

・ジャンルは詩と非文学的教材(記叙文・説明文・記事)、文学的教材(故事・童話・小説・劇)に分けた。

出版社	学年	単元	タイトル(日本語訳)	作者	ジャンル	備考
翰林(2021)	1上	1	小小羊(小さい子ヤギ)		詩	三つで一つの単元
翰林(2021)	1上	1	奶奶家(おばあちゃんのおうち)		詩	三つで一つの単元
翰林(2021)	1上	1	種花(花を植える)		詩	三つで一つの単元
翰林(2021)	1上	詩欣賞	無題	林芳萍	詩	
翰林(2021)	1上	2	請問(お尋ねします)	王洛夫	詩	
翰林(2021)	1上	2	七彩的滑梯(虹の滑り台)		詩	
翰林(2021)	1上	2	秋千(ぶらんこ)	陳静婷	詩	
翰林(2021)	1上	2	回音(こだま)		詩	
翰林(2021)	1上	2	妹妹寫的字(いもうとが書いた字)	康逸藍	故事	
翰林(2021)	1下	1	小花狗(ちいさなぶち犬)		童話	三つで一つのお話
翰林(2021)	1下	1	找春天(春をさがす)		童話	三つで一つのお話
翰林(2021)	1下	1	和春天一樣(春と同じ)		童話	三つで一つのお話
翰林(2021)	1下	2	送什麼呢(何を贈る)		故事	
翰林(2021)	1下	2	窗外的小麻雀(窓の外の小雀)		詩	
翰林(2021)	1下	2	會動的亭子(動くあずまや)		故事	魯班の傘づくり
翰林(2021)	1下	2	毛毛蟲過河(毛虫が川を渡る)		詩	
翰林(2021)	1下	3	借筆(ペンを借りる)		故事	
翰林(2021)	1下	3	數不完的泡泡(数えきれない泡)		詩	
翰林(2021)	1下	3	兩張卡片(二枚のカード)		故事	
翰林(2021)	1下	4	發芽(芽が出る)		詩	
翰林(2021)	1下	4	鉛筆和橡皮擦(鉛筆とけしごむ)		故事	
翰林(2021)	1下	4	誰能上臺(誰が舞台にあがる)		故事	
翰林(2021)	1下	4	山頂		詩	
翰林(2021)	2上	1	踩影子(かげふみ)		童話	三つで一つのお話
翰林(2021)	2上	1	再玩一次(もいちど遊ぼう)		童話	三つで一つのお話
翰林(2021)	2上	1	謝謝好朋友(ありがとうともだち)		童話	三つで一つのお話
翰林(2021)	2上	2	水草下的呱呱(水草の下でグワグワ)		詩	
翰林(2021)	2上	2	沙灘上的畫(砂の上の絵)		故事	
翰林(2021)	2上	2	草叢裏的星星(草むらの中の星々)	陳静婷	故事	
翰林(2021)	2上	2	小蜻蜓低低飛(トンボが低く飛ぶ)	林茵	故事	
翰林(2021)	2上	3	神奇的竹筒飯(不思議な竹筒ご飯)		説明文	台湾・竹筒飯
翰林(2021)	2上	3	不一樣的故事(同じでない話)		故事	竹筒飯→ベトナム春巻
翰林(2021)	2上	3	美味的一堂課(美味しい授業)		故事	ベトナム春巻
翰林(2021)	2上	4	加加減減(足して足して引いて引いて)		故事	
翰林(2021)	2上	4	門、門大仙(門大仙と門大仙)	林哲璋	童話	道教の仙人の大喧嘩
翰林(2021)	2上	4	詠鵝(白鳥を詠む)	康逸藍	故事	古典・駱賓王の詩
翰林(2021)	2上	4	不簡單的字(簡単ではない字)	岑澎維	故事	
翰林(2022)	2下	1	媽媽在哪裏(お母さんはどこに)		童話	三つで一つの単元
翰林(2022)	2下	1	喜歡這個新家(この新しい家が好き)		童話	三つで一つの単元
翰林(2022)	2下	1	去探險(探検に行く)		童話	三つで一つの単元

翰林(2022)	2下	2	一場雨(雨が降る)		詩	
翰林(2022)	2下	2	笑容回来了(笑顔が戻ってきた)		故事	
翰林(2022)	2下	2	有礼貌的回答(丁寧な答え)		故事	書信
翰林(2022)	2下	來閱讀	大家來抱抱(みんなでぎゅっぎゅっ)	林哲璋	童話	
翰林(2022)	2下	3	孵蛋的男孩(たまごを孵した男の子)		故事	エジソンの伝記
翰林(2022)	2下	3	實驗室的意外(実験室の意外)		故事	エジソンの伝記
翰林(2022)	2下	3	點亮世界的人(世界に光をつけた人)		故事	エジソンの伝記
翰林(2022)	2下	4	醜小鴨(みにくいアヒルの子)	林茂興	童話	アンデルセン
翰林(2022)	2下	4	蜘蛛救蛋(クモが卵を救う)	陳靜婷	童話	
翰林(2022)	2下	4	玉兔搗藥(兔が薬を搗く)		詩	中国伝説
翰林(2022)	2下	來閱讀	三隻小豬(三匹のこぶた)	王洛夫	童話(劇)	「三匹のこぶた」のパロディ
翰林(2022)	3上	1	時間是什麼(時間って何)	林武憲	詩	
翰林(2022)	3上	1	明天再寫(明日書く)	李光福	故事	
翰林(2022)	3上	1	提早五分鐘(五分前には)	林良	故事	書信
翰林(2022)	3上	2	猴子的數學(サルの数学)	劉漢初	故事	古典・莊子「朝三暮四」
翰林(2022)	3上	2	神奇的盒子(不思議な箱)	林哲璋	童話	
翰林(2022)	3上	2	小鉛筆的大學問(小鉛筆の大学問)	徐意筑	説明文	
翰林(2022)	3上	愛閱讀	靈光一現(一瞬のひらめき)	郝廣才	説明文	アイスクリームコーンの発明
翰林(2022)	3上	3	風的味道(風のアじわい)	賴伊麗	詩	
翰林(2022)	3上	詩歌欣賞	樹海	杜榮琛	詩	
翰林(2022)	3上	3	寄居蟹找新家(蟹の家に住み家探す)	謝鴻文	童話	劇
翰林(2022)	3上	3	阿塋壹古道(アランイの古道)	陳淑玲	説明文	台東から屏東の古道
翰林(2022)	3上	4	秋千上的婚禮(ブランコの上の婚礼)	陳靜婷	説明文	台湾原住民
翰林(2022)	3上	4	一路平安(お気をつけて)	王文華	故事	
翰林(2022)	3上	4	大團圓(めでたしめでたし)	王文華	故事	
翰林(2022)	3上	愛閱讀	老鼠老鼠嫁女兒(ネズミの嫁入り)	岑澎維	故事	中国語圏・昔話
翰林(2022)	3上	自學樂園	神奇鐘表店(不思議な時計屋)	王文華	童話	
翰林(2022)	3下	自學樂園	竹頭木屑(役に立たないもの)	國編本	故事	陶侃・昔話
翰林(2022)	3下	自學樂園	家	楊喚	詩	
翰林(2022)	3下	自學樂園	元日	王安石	詩	古典・王安石
翰林(2022)	3下	1	拔不起来的筆(抜けない筆)	王文華	故事	古典・王羲之の息子王献之
翰林(2022)	3下	1	還差一點(まだ少し足りない)	王文華	故事	古典・王献之
翰林(2022)	3下	1	用膝蓋跳舞的女孩(ひざで踊る女の子)	陳靜婷	説明文	郭韋齊の紹介
翰林(2022)	3下	2	靜靜的淡水河(静かな淡水川)	林良	詩	台湾・淡水
翰林(2022)	3下	2	茶鄉鹿谷(茶の故郷鹿谷)	王郁軒	説明文	台湾ウーロン茶
翰林(2022)	3下	2	月世界	岑澎維	説明文	高雄の西北部「田寮月世界」
翰林(2022)	3下	愛閱讀	熱愛昆蟲的法布爾(昆虫を熱愛するファーブル)	國編本	説明文	ファーブルの伝記
翰林(2022)	3下	3	做泡菜(つけもの作り)	謝鴻文	説明文	
翰林(2022)	3下	3	便利貼的妙用(ポストイットの便利な使い方)		故事	
翰林(2022)	3下	3	就愛兩兩在一起(二つが一緒になっているのが良い)		説明文	中国・日本・韓国の箸
翰林(2022)	3下	4	飛行員和小王子(パイロットと星の王子様)	林哲璋	童話	ジュベリ『星の王子様』の一部を劇化
翰林(2022)	3下	4	畫龍點睛(画竜点睛)	王家珍	故事	古典
翰林(2022)	3下	4	掉進一個兔子洞(うさぎ穴に落ちて)	林芳萍	詩	不思議の国のアリス
翰林(2022)	3下	4	巨人傳説(巨人の伝説)		故事	台湾原住民族・伝説
翰林(2022)	3下	4	憫農(農を憐れむ)	李紳	詩	古典・粒粒皆辛苦
翰林(2022)	3下	自學樂園	小鎮風情(田舎町の風情)	國立編譯館	詩	台湾台中郊外・鹿港
翰林(2022)	3下	自學樂園	韓信分油(韓信油を分ける)	石麗蓉	古典(故事)	漢・韓信の逸話
翰林(2022)	3下	自學樂園	笨鵝阿皮(がちょうのベチューニア)	羅傑杜佛辛	童話	ロジャー・デュボワゾン

翰林(2021)	4 上	1	水中奇景(水中の珍しい景色)	葉雅琪	説明文	
翰林(2021)	4 上	1	大海的旋律(海の旋律)	張嘉驊	散文	
翰林(2021)	4 上	1	海底世界	李宜勳	説明文	
翰林(2021)	4 上	1	藍色的海洋大軍(青い海の大軍)	李光福	詩	
翰林(2021)	4 上	2	老榕樹下讀報紙 (ガジュマルの木の下で新聞を読む)	李潼	散文	
翰林(2021)	4 上	詩欣賞	讀報紙(新聞を読む)	李宜勳	詩	
翰林(2021)	4 上	2	特別的滋味(特別な味)		童話	
翰林(2021)	4 上	2	收藏秋天(秋を集める)	顏福南	詩	
翰林(2021)	4 上	詩欣賞	四季的花(四季の花)	李宜勳	詩	
翰林(2021)	4 上	閱讀樂園	走過就知道(行ってみればわかる)	魏金財	散文	
翰林(2021)	4 上	3	靜靜的淡水河(静かな淡水川)	林良	詩	台湾・淡水
翰林(2021)	4 上	詩欣賞	油菜花(菜の花)	林芳萍	詩	
翰林(2021)	4 上	3	鹿谷美地,凍頂茶香(美しい鹿谷,ウーロン茶の香)	向陽	散文	台湾ウーロン茶 紀行
翰林(2021)	4 上	3	落山風(山からの強風)	王郁軒	説明文	台湾南部・恒春半島
翰林(2021)	4 上	3	澎湖,我來了(澎湖よ、私は来た)	陳靜婷	散文	台湾澎湖 紀行
翰林(2021)	4 上	4	圓夢之旅(夢をかなえる旅)		説明文	台湾の修学旅行
翰林(2021)	4 上	4	松鼠先生的麵包(リスさんのパン)	林哲璋	童話	
翰林(2021)	4 上	詩欣賞	跌倒(ひっくりかえる)	牧也	詩	
翰林(2021)	4 上	4	身心手腦四合一(身心手腦が一つに)		劇	
		閱讀樂園二	世界盃拔河賽景美女中奪(世界綱引き大会で景美女子中学が優勝)		記事	2018年のニュース
翰林(2021)	4 上	閱讀樂園二	絕不放手(絶対に手は放さない)	林惠珍	説明文	
翰林(2021)	4 下	1	好友籃球隊(なかよしバスケットボールチーム)	李光福	故事	
翰林(2021)	4 下	1	黑與白的戰爭(黒と白の戦争)	葉雅琪	故事	
翰林(2021)	4 下	1	踩著月光上山(月光を踏み山に登る)	吳源戊	故事	
翰林(2021)	4 下	1	如何安排休閒活動(どのように休暇を過ごすか)		説明文	
翰林(2021)	4 下	詩欣賞	風箏(たこ)	顏福南	詩	
翰林(2021)	4 下	2	大峽谷的回憶(大峽谷の思い出)	國編本	散文	紀行
翰林(2021)	4 下	2	羊角村之美(羊角村の美)	李恩華	散文	オランダ・Giethoorn
翰林(2021)	4 下	2	遊廬山有感(廬山に遊びて思う)	蘇軾	詩	古典・「題西林壁」
翰林(2021)	4 下	詩欣賞	山	金波	詩	中国の児童文学作家
翰林(2021)	4 下	閱讀樂園	探索四草綠色隧道(草深い緑の道を探索)	謝鴻文	散文	紀行・台江国家公園
翰林(2021)	4 下	3	我愛看(私は見ることが好き)	林良	散文	
翰林(2021)	4 下	3	快樂王子(幸福の王子)	王爾德・林哲璋	童話	オスカー・ワイルド
翰林(2021)	4 下	詩欣賞	雨	楊喚	詩	
翰林(2021)	4 下	3	最後一片葉子(最後の一片)	歐亨利・林惠珍	小説	オー・ヘンリー
翰林(2021)	4 下	3	孫悟空三借芭蕉扇(孫悟空、芭蕉扇を三借す)	吳承恩	劇	古典・『西遊記』
翰林(2021)	4 下	4	高鐵快飛(新幹線は飛ぶように走る)		説明文	台湾新幹線
翰林(2021)	4 下	詩欣賞	高鐵快飛	麥莉	詩	台湾新幹線
翰林(2021)	4 下	4	神奇魔法衣(不思議な魔法の服)	林哲璋	童話	
翰林(2021)	4 下	4	動物的心聲(動物の心の声)		詩	
翰林(2021)	4 下	閱讀樂園二	通信方式大不同(通信方法が大きく変わった)	子魚	説明文	
翰林(2021)	5 上	1	貝殼砂(貝殻の砂)	余光中	詩	
翰林(2021)	5 上	1	湖邊散步(湖畔の散歩)	劉克襄	散文	紀行
翰林(2021)	5 上	1	一池子的綠(ある池の緑)	趙翠英	散文	
翰林(2021)	5 上	1	與山為鄰(山と隣に)	張騰蛟	散文	
翰林(2021)	5 上	2	我的隱身術(私の隠れ蓑の術)	張曼娟	散文	
翰林(2021)	5 上	2	書信	栗涵	散文	
翰林(2021)	5 上	2	幸福的味道(幸福の味)	小野	散文	
翰林(2021)	5 上	閱讀樂園一	不一樣的房子(異なる家)	方琪	説明文	

翰林(2021)	5 上	3	古今西湖詩選(古今の西湖の詩)	蘇軾,劉大白	古典	詩
翰林(2021)	5 上	3	擅長推理的人(推理にたけた人)	柯南道爾・許榮哲	小説	ドイル・シャーロックホームズ
翰林(2021)	5 上	3	角力士糞金龜(力持ちのフンコロガシ)	法布爾・林哲璋、陳克敏	説明文	ファーブル昆虫記
翰林(2021)	5 上	3	敏銳觀察(鋭敏な観察)	王溢嘉	説明文	
翰林(2021)	5 上	4	讓我坐你的眼睛(貴女の目に代わり)	陳芸英	説明文	台湾の盲導犬の話
翰林(2021)	5 上	4	一萬五千元的學生證(1万5千元の学生証)	秦嗣林	劇	
翰林(2021)	5 上	4	誰該被派去非洲(誰がアフリカへ派遣されるべきか)	連加恩	書信	
翰林(2021)	5 上	閱讀樂園二	煙會說話(煙は話ができる)	亞榮隆 撒可努	散文	原住民作家
翰林(2021)	5 下	1	美麗的溫哥華(美しいヴァンクーバー)	陳志哲	散文	紀行
翰林(2021)	5 下	1	從空中看地球(空中から地球を見る)	韓良露	説明文	
翰林(2021)	5 下	1	歡慶節日(子どもの日を祝う)	陳靜婷	説明文	
翰林(2021)	5 下	1	我眼中的東方之最(私が見る東方のベスト)	褚士瑩	説明文	
翰林(2021)	5 下	2	從想像的鏡子看世界(想像の鏡で世界を見る)	杜榮琛	詩	
翰林(2021)	5 下	2	羅伯特換腦袋(ロボット脳を替える)	蘇善	童話	
翰林(2021)	5 下	2	宮崎駿的想像之泉(宮崎駿の想像の泉)	周姚萍	説明文	伝記・周姚萍『傳遞幸福的動畫大師—宮崎駿』
翰林(2021)	5 下	閱讀樂園一	我會飛(私は飛べる)	林良	童話	
翰林(2021)	5 下	3	五月,風箏,少年(5月、タコ、少年)	陳幸蕙	散文	
翰林(2021)	5 下	3	給女兒的一封信(娘宛の一通の手紙)	劉墉	書信	
翰林(2021)	5 下	3	憨孫耶,好去晒喇!(ばかな孫、早く寝なさい)	蕭蕭	散文	
翰林(2021)	5 下	閱讀樂園一	聽!流星的故事(聴こう、流星の物語)	劉丁財	散文	
翰林(2021)	5 下	4	誕生	林婉瑜	詩	
翰林(2021)	5 下	4	用手指舞出動人的交響曲(手指を舞わせて奏でる交響曲)	王曉書	散文	
翰林(2021)	5 下	4	遠不會太晚(永遠に遅すぎるということはない)	王溢嘉	散文	
翰林(2021)	5 下	閱讀樂園二	亞洲最受贊譽的健康護照製度(アジアで最も称賛される健康パスポート制)	洪致文	説明文	台湾 HELP 制度
翰林(2021)	6 上	1	印象花蓮(花連の印象)	向陽	詩	台湾・花蓮
翰林(2021)	6 上	1	到不來梅當個樂師吧(プレーメンに行つて音楽家になろう)	謝哲青	散文	
翰林(2021)	6 上	1	旅客留言簿(旅人の伝言)	陳素宜	散文	
翰林(2021)	6 上	1	遊走在世界的市場裡(世界の市場を歩く)	韓良憶	散文	紀行
翰林(2021)	6 上	2	滿修女採訪記(滿修道女を訪問)	詹怡宜	説明文	嘉義在住滿詠萱修道女へのインタビュー
翰林(2021)	6 上	2	動物世界的溫情(動物世界の温情)	張秀亞	散文	
翰林(2021)	6 上	2	助人就是在助己(人助けは己の為)	王溢嘉	説明文	
翰林(2021)	6 上	閱讀樂園一	用心動腦話科學(心を動かし脳で語る科学)	曾志朗	説明文	
翰林(2021)	6 上	3	春天的雨(春の雨)	王麗,韓愈	詩	古典「雨晴」「初春小雨」
翰林(2021)	6 上	3	記得螢火蟲(螢の記憶)	葉涵	散文	
翰林(2021)	6 上	3	秋去秋來(秋は去り秋は来る)	徐仁修	散文	
翰林(2021)	6 上	3	雪的銘印(雪が残してくれたもの)	桂文亜	散文	
翰林(2021)	6 上	4	跳躍的音符(跳躍する音符)	國編本	説明文	
翰林(2021)	6 上	4	孫翠鳳和歌仔戲(孫翠鳳と歌仔戲)	李光福	説明文	台湾の伝統劇・歌仔戲とその代表的演者
翰林(2021)	6 上	4	蒙娜麗莎的微笑(モナリザの微笑み)	黃宣勳	記叙文	
翰林(2021)	6 上	閱讀樂園二	煮酒論英雄(酒を爛して英雄を論ずる)	羅貫中	小説	古典『三国志演義』
翰林(2021)	6 下	1	不可以翻魚(魚を裏返してはいけない)	子魚	劇	新疆の昔話・阿凡提
翰林(2021)	6 下	1	橘化為枳(橘、カラタチと化する)	晏子春秋	故事	古典・晏子春秋
翰林(2021)	6 下	1	自嘲是幽默的最高境界(自嘲はユーモアの最高の境界)	楊智翔	説明文	
翰林(2021)	6 下	2	我不和你談論(あなたとは談論しない)	吳晟	詩	
翰林(2021)	6 下	2	留得枇杷鷓鴣鳴(枇杷を残して鳥のさえずりを聞こう)	丁肇琴	散文	
翰林(2021)	6 下	2	樹的語言(樹木の言葉)	洪瓊君	散文	

翰林(2021)	6 下	閱讀樂園	唐吉訶德 大戦風車(ドンキホーテ 風車との大戦)	塞萬提斯・許榮哲	劇本	セルバンテス
翰林(2021)	6 下	3	收集喜悦(集める喜び)	李潼	散文	
翰林(2021)	6 下	3	落花生	許地山	散文	台湾出身中国近代作家
翰林(2021)	6 下	3	用愛心說實話(愛の心で話をする)	劉清彥	散文	
翰林(2021)	6 下	4	撐開你的傘(あなたの傘を開いて)	陳義芝	故事	
翰林(2021)	6 下	4	迎風(風に向かって)	林世仁	詩	
翰林(2021)	6 下	閱讀樂園二	冬末午後兩點半的高鐵(冬の終わり午後二時半の新幹線)	劉克襄	説明文	台湾新幹線
南一(2019)	1 上	1	手拉手(手と手をつなぐ)		詩	
南一(2019)	1 上	1	好朋友(良い友達)		詩	
南一(2019)	1 上	1	下課了(授業が終わった)		詩	
南一(2019)	1 上	1	手拉手(手と手をつなぐ)		詩	
南一(2019)	1 上	1	校園		詩	
南一(2019)	1 上	1	遊戲		詩	
南一(2019)	1 上	1	印手印(手形を押す)		詩	
南一(2019)	1 上	1	堆積木(積み木をつむ)		詩	
南一(2019)	1 上	1	搭火車(列車に乗る)		詩	
南一(2019)	1 上	1	兩人三脚(二人三脚)		詩	
南一(2019)	1 上	1	放風箏(凧をあげる)		詩	
南一(2019)	1 上	1	遊戲		詩	
南一(2019)	1 下	1	春天來了(春が来た)	林良	詩	
南一(2019)	1 下	1	春天的雨(春の雨)		詩	
南一(2019)	1 下	1	燕子回來的時候(燕が戻ってきた時)廖炳焜		詩	
南一(2019)	1 下	1	小花園(小さな花園)		記叙文	
南一(2019)	1 下	2	彩虹(虹)		詩	
南一(2019)	1 下	2	山中音樂會(山のなかの音樂會)		詩	
南一(2019)	1 下	2	看海(海を見る)		記叙文	
南一(2019)	1 下	2	大自然是一本書(大自然は一冊の本)		記叙文	
南一(2019)	1 下	我會讀	五月雪(五月の雪)		詩	
南一(2019)	1 下	3	公園裡(公園の中)		記叙文	
南一(2019)	1 下	3	一天的時間(一日の時間)	姜總味	詩	
南一(2019)	1 下	3	生日卡片(誕生日カード)		記叙文	
南一(2019)	1 下	3	排隊(列に並ぶ)		詩	
南一(2019)	1 下	4	畫畫(絵を描く)		詩	
南一(2019)	1 下	4	捏陶樂(陶芸を楽しむ)		記叙文	
南一(2019)	1 下	4	追風小飛俠(風に乗る小さなヒーロー)		詩	
南一(2019)	1 下	我會讀	風來了(風が吹いた)	李新華	詩	
南一(2019)	1 下	4	跳舞(踊る)	翁士行	散文詩	
南一(2018)	2 上	1	小時候(小さな頃)	林良	詩	
南一(2018)	2 上	1	我長大了(ぼくは大きくなった)		記叙文	
南一(2018)	2 上	我會讀	我願(なりたいもの)	潘人木	詩	
南一(2018)	2 上	1	小種子(小さな種)		童話	
南一(2018)	2 上	2	珍珠不見了(真珠が無くなった)	黃春美	詩	
南一(2018)	2 上	2	我愛秋夜(私は秋の夜が好き)		故事	
南一(2018)	2 上	2	去農場玩(農場に行って遊ぶ)		日記	
南一(2018)	2 上	2	大地的音符(大地の音符)		詩	
南一(2018)	2 上	閱讀列車	飛吧! 蒲公英(飛べ、タンポポ)	簡惠碧	童話	
南一(2018)	2 上	3	小小說書人(小さな本の紹介人)		記叙文	
南一(2018)	2 上	3	一起來寫詩(一緒に詩を書きましょう)		記叙文	
南一(2018)	2 上	3	一字師		故事	古典・晚唐・齊己の「早梅」
南一(2018)	2 上	4	迎風向前行(風に向かって前にすすむ)		詩	
南一(2018)	2 上	4	到外婆家(おばあちゃんの家に行く)		記叙文	

南一(2018)	2 上	4	出租時間的熊爺爺(時間を借りた熊じい)	任小霞	童話	
南一(2018)	2 上	4	打開相本(アルバムを開く)		詩	
南一(2018)	2 上	閲読列車	文字魔法師	徐國能	童話	
南一(2019)	2 下	1	小河(小川)		詩	
南一(2019)	2 下	1	看夕陽(夕日を見る)		童話	
南一(2019)	2 下	1	我想去的地方(私が行きたい場所)		記叙文	
南一(2019)	2 下	2	盒子裡的寶貝(箱の中の宝物)		記叙文	
南一(2019)	2 下	2	好朋友(良い友達)		詩	
南一(2019)	2 下	2	點一盞燈(灯りを灯す)		故事	
南一(2019)	2 下	2	小布熊的悄悄話(小熊の内緒話)		手紙	
南一(2019)	2 下	閲読列車	樹上的小房子(木の上の小さなおうち)	金煌(キムファン)	故事	『すばこ』
南一(2019)	2 下	3	跌倒(ひっくりかえる)	牧也	詩	
南一(2019)	2 下	我會讀	征服腳踏車(自転車で行く)	姜總味	詩	
南一(2019)	2 下	3	賞鳥(バードウォッチング)		日記	
南一(2019)	2 下	3	我的借書證(私の利用者カード)		記叙文	
南一(2019)	2 下	4	救救小蝌蚪(オタマジャクシを救え)		童話	
南一(2019)	2 下	4	猴子擲月亮(サルが月をすくう)		故事	古典・「猿猴取月」
南一(2019)	2 下	4	赤脚國王(はだしの王様)	曹俊彦	童話	同名絵本有り
南一(2019)	2 下	4	角和脚(角と脚)		童話	
南一(2019)	2 下	4	蝸牛強強(蝸牛チアンチアン)	林良	童話	曹俊彦挿絵童話集
南一(2021)	3 上	1	你好,新朋友(ニーハオ,新しい友達)	翁士行	童話	
南一(2021)	3 上	一起來欣賞	一起游泳(一緒に泳ぐ)	張清榮	詩	
南一(2021)	3 上	1	我們的約定(我々の約束)		故事	
南一(2021)	3 上	1	下課十分鐘(休み時間の 10 分間)		故事	
南一(2021)	3 上	2	留住今天的太陽(今日の太陽があるうちに)	陳月雲	記叙文	
南一(2021)	3 上	2	火大了(火が大きくなった)	薩芙	童話	
南一(2021)	3 上	2	我該怎麼辦?(私はどうすべき)	彭素華	童話(劇)	
南一(2021)	3 上	3	最年輕的奶奶(最も若いおばあちゃん)	許亜歷	童話	
南一(2021)	3 上	3	魔「髮」哥哥(魔「髮」兄さん)	郭瀟婷	童話	
南一(2021)	3 上	3	穿白袍的醫生伯伯(白衣を着たお医者さん)	林芳萍	詩	
南一(2021)	3 上	一起來欣賞	看醫生(医者に診てもらおう)	路衛	詩	
南一(2021)	3 上	4	唉呀!誤會大了(ああ、誤解が大きい)	李宗怡	説明文	
南一(2021)	3 上	4	石虎的告白(石虎の告白)	吳欣然	説明文	
南一(2021)	3 上	4	昆蟲的保命妙招(昆虫の自己保存のコツ)	李翠玲	説明文	
南一(2021)	3 上	一起來欣賞	台灣大鏢形蟲(台湾オオクワガタ)	林良	詩	
南一(2021)	3 上	神奇讀卡機	石頭湯(石のスープ)	周理慧	故事	欧州昔話
南一(2021)	3 上	神奇讀卡機	你都讀什麼書呢?(あなたは何の本を読む?)	張友漁	童話	
南一(2021)	3 下	1	最美的模樣(最も美しい模様)	王宗仁	詩	
南一(2021)	3 下	一起來欣賞	湖	邱雲忠	詩	
南一(2021)	3 下	1	玩玩具(おもちゃで遊ぶ)	林良・王淑芬	散文	
南一(2021)	3 下	1	愛玉的變身術(愛玉の変身術)	陳瑞櫻	説明文	台湾のアイギョクシ
南一(2021)	3 下	讀寫練功房	多多的寶物(トゥオトゥオの宝物)	陳可卉	童話	
南一(2021)	3 下	2	楊修猜字(楊修の字あて)		故事	古典・世説新語
南一(2021)	3 下	2	唱反調		劇	台湾伝統文化
南一(2021)	3 下	2	一飛冲天(空まで飛ぶ)	周姚萍	童話	
南一(2021)	3 下	3	井仔脚鹽田(ジンジャイジアオ塩田)	牧也	詩	台南にある塩田
南一(2021)	3 下	一起來欣賞	山喜歡交朋友(山は友達になりたい)	陳正治	詩	
南一(2021)	3 下	3	和魚一起游泳(魚と一緒に泳ぐ)	嚴淑女	散文	
南一(2021)	3 下	3	三峽老街染藍染(三峽老街で藍染を楽しむ)	王文華	散文	新北の三峽老街
南一(2021)	3 下	讀寫練功房	騎鉄馬郊遊趣(自転車で郊外に遊ぶ)	姜總味	記叙文	
南一(2021)	3 下	4	地球的眼淚(地球の涙)		説明文	林世仁の詩・海

南一(2021)	3 下	一起來欣賞	樹海	杜榮琛	詩	
南一(2021)	3 下	4	枯木是大飯店(枯れ木は大きなホテル)	劉克襄	散文	
南一(2021)	3 下	4	騎樓(アーケード)	陳彦冲	説明文	
南一(2021)	3 下	神奇讀卡機	句號不在的時候(句読点のない時)	管家琪	童話	
南一(2021)	3 下	神奇讀卡機	發現台北城(台北を発見する)	蔡香玲	叙事文	
南一(2020)	4 上	1	窗口邊的臺灣樂樹 (窓辺の台湾ノックゲンジ)	王素涼	散文	
南一(2020)	4 上	1	花兒的心事(お花の心)	王淑芬	童話	
南一(2020)	4 上	1	水果們的晚會(果物たちのパーティ)	楊喚	詩	台湾近代詩人
南一(2020)	4 上	一起來欣賞	太陽花(ひまわり)	李益維	詩	
南一(2020)	4 上	2	冬日吃蘿蔔(冬に大根を食べる)	韓良露	散文	
南一(2020)	4 上	2	飛魚成年禮(トビウオの成人式)	王文華	童話	台湾
南一(2020)	4 上	2	敬字紙與惜字亭(字や紙を大切に 惜字亭)	劉還月	説明文	台湾
南一(2020)	4 上	2	奉茶(茶を奉じる)	劉伯樂	童話	青林から同名絵本
南一(2020)	4 上	一起來欣賞	一杯茶(一杯の茶)	林良	詩	
南一(2020)	4 上	閱讀列車	樹木真重要(木は重要)	許勝會,任裕珍	説明文	나무는 꼭 필요해 똑똑똑 과학그림책
南一(2020)	4 上	3	小小記者研習營(小記者の研修会)		説明文	
南一(2020)	4 上	3	網繫人間情(人間の情をつなぐ)		説明文	
南一(2020)	4 上	3	從媒體學思考(メディアからの思考)	李偉文	説明文	
南一(2020)	4 上	4	有錢人可能很窮(金持ちは本当は貧しい かもしれない)	古川千勝	散文	『100 人の村は楽園 だった』(2002 年)
南一(2020)	4 上	一起來欣賞	爸爸施肥的手(父さんの肥をまく手)	劉丁財	詩	
南一(2020)	4 上	4	孫悟空三借芭蕉扇(孫悟空、芭蕉扇を三借す)	黃惠鈴改寫	劇	古典・西遊記
南一(2020)	4 上	4	快樂的油漆工(たのしいペンキ屋さん)	馬剋吐溫 湯 姆曆/歴記	小説	マークトウェイン・トム ソーヤ
南一(2020)	4 上	4	巨人和春天(巨人と春)	郝廣才	童話	
南一(2020)	4 上	閱讀列車	怕鬼的熊哥哥(幽霊の恐い熊さん)	陳可卉	童話	
南一(2021)	4 下	1	狗不理包子(狗不理の肉まん)		故事	
南一(2021)	4 下	1	厨房(キッチン)	林良	詩	
南一(2021)	4 下	1	奶奶的排骨粥(ばあちゃんのスペアリブ粥)	曾谷涵	散文	
南一(2021)	4 下	1	熱荔枝(熱いライチ)	李潼	散文	
南一(2021)	4 下	2	陪綠精靈長大(緑の精霊と成長する)	王文華	散文詩	
南一(2021)	4 下	2	窗外, 綠色的早晨(窓の外、緑の朝)	林煥彰	詩	
南一(2021)	4 下	2	氣味之旅(香りの旅)	洪瓊君	散文	
南一(2021)	4 下	一起來欣賞	春天的女兒(春の娘)	姜總味	詩	
南一(2021)	4 下	2	壯闊的亞馬孫河(広大なアマゾン河)	林少雯	説明文	
南一(2021)	4 下	2	蝶之生(蝶の命)	杜虹	説明文	
南一(2021)	4 下	2	胃先生的除夕日記(胃先生の除夜の日記)	彼得・羅温 許琳英訳	童話	ピーター ローワン『きゅう りサンドイッチの冒険旅 行』科学
南一(2021)	4 下	2	小車站旁的五味屋(小さな駅舎側の雜貨屋)	劉克襄	散文	台湾の实在の駅舎
南一(2021)	4 下	3	清香油紙傘(爽やかな香りの唐傘)	陳幸蕙	説明文	台湾伝統の傘づくり
南一(2021)	4 下	3	橋		説明文	台湾新北市の橋
南一(2021)	4 下	4	夢想起飛(夢をはばたかせる)		説明文	安藤忠雄と台湾写真家蕭柏林
南一(2021)	4 下	4	小廚師阿諾(小さなコック・ヌオちゃん)	王手蟲	童話	
南一(2021)	4 下	4	玩娃娃的男孩(人形で遊んでいた男の子)	馬岳琳	説明文	ミッセル・ガマの『ザ・フ エイツ・ウーの伝記
南一(2021)	4 下	4	臺灣的孩子(台湾の子ども)	向陽	詩	台湾
南一(2021)	4 下	4	補網的婦人(網を縫う婦人)	蔣勳	散文	紀行・台湾
南一(2021)	5 上	1	做人做事做長久(やるならずっと)	李潼	散文	
南一(2021)	5 上	1	孔雀錯了(孔雀は間違った)	琦君	散文	
南一(2021)	5 上	1	折箭(弓を折る)	北宋司馬光	劇	古典『資治通鑑』
南一(2021)	5 上	1	服務人群(服務する人々)		説明文	
南一(2021)	5 上	2	到南方澳去(南方澳へ行く)	蓉子	詩	台湾・宜蘭
南一(2021)	5 上	2	護送螃蟹過馬路(蟹が道を渡るのを助ける)	范欽慧	説明文	
南一(2021)	5 上	2	海洋朝聖者	夏曼 藍波安	散文	台湾原住民作家
南一(2021)	5 上	閱讀列車	鬼頭刀(シイラ)	陳宗暉	散文	廖鴻基の鬼頭刀

南一(2021)	5 上	3	美,是一種感動(美,それは一種の感動)	李賢文	散文	
南一(2021)	5 上	3	尋找藝術精靈(芸術の精霊を探して)	樊茜萍,陳秋華	記事	台北地下鉄紹介記事
南一(2021)	5 上	3	在黑暗中乘著音樂飛翔(暗闇の中音楽にのって飛ぶ)	劉芝吟	説明文	視覚障害のピアニスト黄裕翔の伝記
南一(2021)	5 上	3	讀信的藍衣女子(手紙を読む青い服の女)	謝哲青	散文	フィメールの絵
南一(2021)	5 上	4	耶誕禮物(イエスの贈り物)	歐亨利・林良	小説	オーヘンリー「クリスマスの贈り物」
南一(2021)	5 上	4	漫遊詩情 李白	李白・王安石	詩	古典「觀放白鷹」梅
南一(2021)	5 上	4	我的書齋(私の書齋)	鍾理和	散文	
南一(2021)	5 上	閲読列車	大戦年糕妖魔(餅の魔)	夏目漱石・游珮芸	小説	『吾輩は猫である』
南一(2021)	5 下	1	為一本書留一種味道(一冊の本の香り)	李鼎	散文	
南一(2021)	5 下	1	佐賀の超級阿媽(佐賀のがばいばあちゃん)	感想文	感想文	島田洋七
南一(2021)	5 下	1	怎樣成為小作家(どのように小作家になるか)	劉墉	説明文	
南一(2021)	5 下	1	小兔彼得和波特小姐(ピーターラビットとポターさん)	凌明玉	説明文	
南一(2021)	5 下	2	八歲,一個人去旅行(八歲,一人で旅行に行く)	吳念真	散文	
南一(2021)	5 下	2	凝聚愛的每一哩路(愛を集めたそれぞれの道)		記事	台湾の風車劇団訪問記事
南一(2021)	5 下	2	一針一線縫進母愛(一針ずつ縫う母の愛)		古典(詩)	孟郊「遊子吟」の紹介
南一(2021)	5 下	閲読列車	給孩子的一封信(子どもにあてた一通の手紙)	連加恩	散文	書信
南一(2021)	5 下	3	天涯若比鄰(天涯比隣の若し)		説明文	環境
南一(2021)	5 下	3	尼泊爾少年(ネパールの少年)	蔡涵	説明文	
南一(2021)	5 下	3	橘色打掃龍(オレンジクリーンドラゴン)	陳思宏	説明文	ドイツの台湾人
南一(2021)	5 下	3	根本没想到(思いもよらない)	木下諄一	散文	
南一(2021)	5 下	4	沉默的動物園(沈黙の動物園)	桂文亞	散文	
南一(2021)	5 下	4	被埋葬了的城市(埋葬された都市)	柏吉爾・張子樟	説明文	Bruno H.Burdel, ドイツの科学読み物
南一(2021)	5 下	4	地下護衛軍		説明文	兵馬俑について
南一(2021)	5 下	閲読列車	穿越地球(地球を越えて)	黃海	小説	SF
南一(2020)	6 上	1	在天晴了的時候(晴れた時)	戴望舒	詩	近代中国詩人
南一(2020)	6 上	1	心情隨筆(思いを描く)	宋晶宜	散文	台湾
南一(2020)	6 上	1	甜蜜如漿烤番薯(蜜の如く甘い焼き芋)	張曼娟	散文	台湾
南一(2020)	6 上	1	珍珠鳥(キンカチョウ)	馮驥才	散文	
南一(2020)	6 上	2	客至	杜甫	詩	古典
南一(2020)	6 上	2	紀念照(記念写真)	向田邦子 張秋明訳	散文	『父の詫び状』
南一(2020)	6 上	2	戲術	蒲松齡	故事	古典・『聊齋志異』
南一(2020)	6 上	2	黃蓉智退霍都(黄蓉、霍都を智退す)	金庸	小説	『神鵰俠侶(邦題:神鵰劍俠)』武侠
南一(2020)	6 上	2	飢渴好「火」伴(飢えは良きもの)	蓋瑞・伯森・蔡美玲・黃小萍譯	小説	Gary Paulsen『手斧男孩(Hatchet)』
南一(2020)	6 上	3	我愛藍影子(私の好きな青い影)	桂文亞	散文	
南一(2020)	6 上	3	少年筆耕	亜米契斯	小説	『アミークス・クレオ』より『ジュリオ少年の秘密』
南一(2020)	6 上	3	明智的抉擇(賢い選択)	王溢嘉	散文	
南一(2020)	6 上	4	夢幻全壘打(夢のホームラン)	侯文詠	散文	台湾野球
南一(2020)	6 上	4	草地上的網球夢(芝でのテニスの夢)	盧彥勳	記叙文	
南一(2020)	6 上	4	贏得喝采的輸家(勝者は喝采を受けた敗者)		記事	ケニアランナー・ムタイ選手
南一(2020)	6 上	閲読列車	傳遞和平的聖火(平和を伝える聖火)		記叙文	
南一(2021)	6 下	1	清平樂村居	辛棄疾	詩	古典
南一(2021)	6 下	1	春	朱自清	散文	近代中国
南一(2021)	6 下	1	大自然的規則(大自然の規則)	佛瑞斯特・卡特姚宏昌訳	小説	フォレスト・カーター『リトル・トリー』
南一(2021)	6 下	1	那人在看畫(あの人は絵を見ている)	張曉風	散文	台湾
南一(2021)	6 下	閲読列車	一窪水(湧き水)	馮輝岳	散文	
南一(2021)	6 下	2	小時了了	劉義慶	故事	古典・『世説新語』
南一(2021)	6 下	3	愛搞亂的動物(さわがしい動物)	康拉德・勞倫茲	散文	ローレンツの『動物の行動』
南一(2021)	6 下	3	科學怪人(フランケンシュタイン)	瑪麗・雪萊	小説	メアリー・シェリー『Frankenstein』

南一(2021)	6 下	3	火燒連環船	羅貫中	小説	古典・『三国志演義』赤壁の戦い
南一(2021)	6 下		偵探福爾摩斯(名探偵ホームズ)	柯南・道爾	小説	シャーロックホームズ
南一(2021)	6 下	3	未走之路	羅伯特・佛洛斯特	詩	Robert Lee Frost
南一(2021)	6 下	3	打開心中的窗(心の窓を開く)	蔡涵	散文	
南一(2021)	6 下	3	努力愛華(努力、青春を愛する)	李潼	散文	
康軒(2021)	1 上	1	拍拍手(手をたたきましょう)	馮輝岳	詩	
康軒(2021)	1 上	1	這是誰的?(これは誰のもの)	鄒敦伶	詩	
康軒(2021)	1 上	2	長遠(大きくなる)	林麗麗	詩	
康軒(2021)	1 上	2	比一比(比べこみましょう)		詩	
康軒(2021)	1 上	2	小路(小さな道)		詩	
康軒(2021)	1 上	閱讀階梯	擁抱(ハグをする)	莊永佳	故事	
康軒(2021)	1 上	我會自己讀	大拇指(おやゆび)		詩	
康軒(2021)	1 上	我會自己讀	城門		詩	
康軒(2021)	1 上	我會自己讀	荷花(蓮の花)		詩	
康軒(2021)	1 上	我會自己讀	認識不同的人(違う人と認識する)	王淑芬	故事	
康軒(2021)	1 下	1	今天早上真熱鬧(今朝は本当に賑やか)	林良	詩	
康軒(2021)	1 下	1	花園里有什麼?(花園には何がある)	洪志明	詩	
康軒(2021)	1 下	1 1	媽媽的音樂會(お母さんの音楽会)	洪琬喻	詩	
康軒(2021)	1 下	2	鞋(くつ)	林武憲	詩	
康軒(2021)	1 下	2	小種子快長大(種さん速く大きくなれ)	周以琪・蕭仿吟・詹清詞	故事	
康軒(2021)	1 下	2	奶奶的小跟班(おばあちゃんと一緒に)	黃秀精	故事	
康軒(2021)	1 下	3	做夢的雲(夢見る雲)	杜榮琛	詩	
康軒(2021)	1 下	3	妹妹的紅雨鞋(妹の赤い長靴)	林煥彰	詩	
康軒(2021)	1 下	3	七彩的虹(七色の虹)	楊喚	詩	
康軒(2021)	1 下	4	和你在一起(あなたと一緒に)	方素珍	詩	
康軒(2021)	1 下	4	兩朵雲(二つの雲)	鄭谷蘭	詩	
康軒(2021)	1 下	4	生日快樂(誕生日おめでとう)		故事	
康軒(2021)	1 下	4	我們都是第一名(ぼくたち皆一番)	趙筱蓓和小黑賽跑	故事	
康軒(2021)	1 下	閱讀階梯	小小鼠的快樂(小さな鼠の喜び)	李妍頻	童話	
康軒(2021)	1 下	我會自己讀	寫詩(詩を書く)	子魚	童話	
康軒(2021)	1 下	我會自己讀	種樹歌(木を植える歌)	周伯	詩	
康軒(2021)	1 下	我會自己讀	小虹等彩虹(シャオホンは虹を待つ)	鄒敦伶	故事	
康軒(2021)	1 下	我會自己讀	老鼠和獅子(ネズミとライオン)	伊索寓言	故事	イソップ寓話
康軒(2021)	2 上	1	新學年新希望(新学年の新しい希望)	侯詩瑜	故事	
康軒(2021)	2 上	1	一起做早餐(一緒に朝ご飯を作る)		故事	
康軒(2021)	2 上	1	走過小巷(路地を渡って)	馮輝岳	詩	
康軒(2021)	2 上	2	運動會(運動会)	林世仁	詩	
康軒(2021)	2 上	2	水上木偶劇(水上人形劇)		說明文	ベトナム(母の故郷)
康軒(2021)	2 上	2	小鎮的柿餅節(村の干し柿)		說明文	新竹・新埔の干し柿
康軒(2021)	2 上	3	國王的新衣裳(王様の新しい衣裳)	鄒敦伶	詩	アンデルセン
康軒(2021)	2 上	3	「聰明」的小熊(「かしこい」小熊)		童話	
康軒(2021)	2 上	3	大象有多重?(象はどのくらい重い)	陳麗雲	故事	古典・『三国志』曹冲
康軒(2021)	2 上	4	我愛冬天(私は冬が好き)		詩	
康軒(2021)	2 上	4	遠方來的黑皮(遠くから来たハイピー)	游慧玲	故事	
康軒(2021)	2 上	4	新年快樂(新年おめでとう)	林麗麗	書信	
康軒(2021)	2 上	閱讀階梯	我最喜歡上學了(一番好きなのは学校へ行くこと)	趙小傑(文)、陳佳惠(絵)	詩	
康軒(2021)	2 上	我會自己讀	外婆的小幫手(おばあちゃんの手伝い)	王文華	故事	
康軒(2021)	2 上	我會自己讀	生日派對(誕生日パーティー)	何綺華	童話	
康軒(2021)	2 上	我會自己讀	公雞生蛋(オンドリが卵を生む)	林煥彰	詩	
康軒(2021)	2 上	我會自己讀	卑南族男孩的年祭(卑南族の男の子の祭り)		故事	台湾原住民
康軒(2021)	2 下	1	春天的顏色(春の色)		詩	
康軒(2021)	2 下	1	花衣裳(花の衣裳)	蔡孟耘	故事	
康軒(2021)	2 下	1	彩色王国(カラーの王国)	呂錫寬	童話	
康軒(2021)	2 下	2	爸爸(お父さん)	向陽	詩	

康軒(2021)	2下	2	我的家人(私の家族)		故事	
康軒(2021)	2下	2	感恩留言板(感謝のメッセージボード)		叙事	
康軒(2021)	2下	3	月光河(月の川)	馬景賢	童話	
康軒(2021)	2下	3	黃狗生蛋(黄色い犬が卵を生んだ)	馮輝岳	童話	
康軒(2021)	2下	3	神筆馬良(神筆のマーリヤン)	洪汎濤	童話	昔話・大陸作家
康軒(2021)	2下	4	知識探險家	林玲如	詩	
康軒(2021)	2下	4	小讀者樂園		説明文	日記
康軒(2021)	2下	4	巨人山(巨人の山)	斯威夫特	童話	ガリバー旅行記
康軒(2021)	2下	閱讀階梯	江奶奶的雜貨店(ジアンおばあちゃんの雜貨店)	林玉璋(文)、吳若嫻(繪)	故事	
康軒(2021)	2下	我會自己讀	顏色跑到哪去了?(色はどこへ行った)	林世仁	詩	
康軒(2021)	2下	我會自己讀	種花(花を植える)	呂嘉紋	詩	
康軒(2021)	2下	我會自己讀	勇士射太陽(勇士が太陽を射る)		故事	中国神話「金の太陽殿の太陽」
康軒(2021)	2下	我會自己讀	黑熊村的圖書館(黒熊村の図書館)	鄭丞鈞	童話	
康軒(2021)	3上	1	心的悄悄話(心のないしょ話)	林世仁	詩	
康軒(2021)	3上	1	妙故事点点名(慣用句がらみのお話)		故事	
康軒(2021)	3上	1	繞口令村(早口言葉村)	鄒敦伶	故事	
康軒(2021)	3上	2	有你陪伴(あなたと一緒に)	方群	詩	
康軒(2021)	3上	2	小丑魚和海葵(クマノミとイソギンチャク)	林玲如	童話	
康軒(2021)	3上	2	小女生(カワイ子ちゃん)	鍾怡雯	故事	子猫
康軒(2021)	3上	閱讀階梯	丸子與我(マルと私)	顏如禎	故事	子犬
康軒(2021)	3上	3	淡水小鎮(淡水の町)	馮輝岳	詩	台灣・淡水
康軒(2021)	3上	詩開門	日落(日落ちる)	謝鴻文	詩	台灣・淡水
康軒(2021)	3上	3	安平古堡參觀記(安平古城參觀記)		説明文	紀行・台南・安平古堡
康軒(2021)	3上	3	馬太鞍的巴拉告(馬太鞍の魚屋)	何佩珊	説明文	花蓮・馬太鞍湿地
康軒(2021)	3上	4	狐狸的故事(狐の物語)	簡玲・伊索寓言	故事	インソップ寓話
康軒(2021)	3上	4	巨大的花園(巨人の花園)	王爾德	童話	オスカー・ワイルド
康軒(2021)	3上	4	奇特的朋友(大切な友達)	聖修伯里	童話	ジュベリ「星の王子様」
康軒(2021)	3上	閱讀階梯	拜訪火燒島(火燒島を訪ねて)		説明文	台灣・綠島の紀行
康軒(2021)	3上	我會自己讀	小巫婆的心情夾心糖(魔法使いの心のキャンディ)	哲也	童話	
康軒(2021)	3上	我會自己讀	小美人魚的愿望(小さな人魚姫の夢)		故事	デンマーク・人魚姫像
康軒(2021)	3下	1	許願(願い)	陳木城	詩	
康軒(2021)	3下	1	下雨的時候(雨の時)	吳明輝	故事	
康軒(2021)	3下	詩開門	春雨	杜榮琛	詩	
康軒(2021)	3下	1	遇見美如奶奶(メルばあさんに会いに)	黃惠鈴	童話	
康軒(2021)	3下	2	工匠之租(匠の租)	鄭雅芬	故事(古典)	魯班
康軒(2021)	3下	2	學田鼠開路(田鼠に学ぶ)	陳佳釧	説明文	ロンドン・地下鉄
康軒(2021)	3下	2	神奇密碼(不思議なナンバー)	黃秀精	故事	
康軒(2021)	3下	閱讀階梯	蘋果甜蜜蜜(甘い甘いりんご)	陳盈帆	故事	同名繪本
康軒(2021)	3下	3	油桐花・五月雪	馮輝岳	説明文	台灣のアブラギリ花
康軒(2021)	3下	3	大自然的美術館		説明文	新北の野柳について
康軒(2021)	3下	3	臺灣的山椒魚	顏如禎	説明文	台灣の山椒魚
康軒(2021)	3下	4	漁夫和金鱼(漁夫と金魚)	普希金	童話	プーシキン(露)
康軒(2021)	3下	4	聰明的鼠鹿(かしこい鼠鹿)	鄒敦伶	故事	民話(インドネシア)
康軒(2021)	3下	4	還要跌幾次(まだ幾度か転ぶ)	故事	故事	民話(韓国)「三年峠」
康軒(2021)	3下	閱讀階梯	故宮珍玩(故宮の御物)	林世仁	説明文	台灣・故宮博物院
康軒(2021)	3下	我會自己讀	世界上第一個交通信号灯(世界で最初の信号)		説明文	
康軒(2021)	3下	我會自己讀	赤科上山的金色嘉年華(赤科山上で咲き誇る金色の花)		説明文	台灣花蓮・赤科上の金針花
康軒(2021)	3下	我會自己讀	小狐狸買手套(手袋を買いに)	新美南吉	童話	
康軒(2018)	4上	1	阿里山上看日出(阿里山で日の出を見る)	林良	散文	紀行・台灣・阿里山
康軒(2018)	4上	1	秋色入山林(秋に山に入る)	楊美玲	詩	
康軒(2018)	4上	1	老鷹不飛(老いたタカは飛ばない)	伍季	詩	台灣・基隆
康軒(2018)	4上	2	永遠的馬偕(永遠の MacKay(マッケイ))		説明文	カナダ人医師の伝記
康軒(2018)	4上	2	海倫・凱勒的奇跡(ヘレンケラーの奇跡)		説明文	伝記
康軒(2018)	4上	2	讀書報告 林書豪的故事(林書豪の物語)		讀書報告	台灣系米国人 Jeremy Lin
康軒(2018)	4上	2	攀登生命的高峰(生命の頂上に登る)		説明文	伝記・登山家・江秀真

康軒(2018)	4 上	閱讀開門	種樹的人(木を植えた男)	尚・紀沃諾・林武憲編	小説	ジャン・ジオノ(仏)
康軒(2018)	4 上	3	美味の一堂課(美味しい授業)		叙事	
康軒(2018)	4 上	3	走進蒙古包(モンゴルのパオに入る)		説明文	
康軒(2018)	4 上	3	建築界的長頸鹿(建築界のキリン)		説明文	台北 101 ビル
康軒(2018)	4 上	詩開門	長頸鹿(キリン)	康逸藍	詩	
康軒(2018)	4 上	4	水果們的晚會(果物たちのパーティ)	楊喚	詩	
康軒(2018)	4 上	4	兩兄弟(二人の兄弟)	托兒斯泰	童話	トルストイ(露)
康軒(2018)	4 上	4	棉花上的沉睡者(綿花の上で眠るもの)	張曼娟	説明文	緑豆の芽
康軒(2018)	4 上	詩開門	總有一天(いつの日か)	鄒敦伶	詩	
康軒(2018)	4 上	4	完璧歸趙(璧をまっとうして趙に帰す)	康逸藍	故事	古典史記 廉頗藺相如列伝
康軒(2018)	4 上	閱讀開門	沙漠之舟-駱駝(砂漠の舟、ラクダ)		説明文	
康軒(2018)	4 下	1	心動不如行動(思い立ったらすぐ動く)		故事	古典・為學一首示子侄. 清代: 彭端淑
康軒(2018)	4 下	1	一朵鮮花(花束一つ)	殷穎	故事	
康軒(2018)	4 下	1	往夢想前進(夢に向かって進む)	川路柳虹	詩	「暁を見るために」
康軒(2018)	4 下	2	米食飄香(米食の美味しい香り)		説明文	
康軒(2018)	4 下	2	遠方的來信(遠くからの手紙)		説明文	書信
康軒(2018)	4 下	詩開門	茶	向陽	詩	
康軒(2018)	4 下	2	掌中天地(手のなかの天地)		記叙文	台湾・布袋戲
康軒(2018)	4 下	2	請到我的家鄉來(どうぞ私のふるさとへ)	林海音	説明文	紀行
康軒(2018)	4 下	閱讀開門	国王的噴泉(国王の噴水)	勞埃德・亞歷山大	故事	ロイド・アレグザンダー
康軒(2018)	4 下	3	小小鸽子要回家(小鳩が家に戻る)	曾志朗	説明文	
康軒(2018)	4 下	3	臺灣昆蟲知己 李淳陽(台湾の昆虫の友達李淳陽)		説明文	科学・伝記・台湾・李淳陽
康軒(2018)	4 下	3	處處皆學問(どこにも学ぶものがある)		説明文	
康軒(2018)	4 下	4	臺灣的孩子(台湾の子ども)	向陽	詩	
康軒(2018)	4 下	4	有用好還是没用好?(役に立つそれともたない)	郝廣才	童話	
康軒(2018)	4 下	4	動物啟示錄(動物が教えてくれること)	王溢嘉	説明文	
康軒(2018)	4 下	4	愛心樹(おおきな木)	謝爾・希爾弗斯坦	童話	シェル・シルヴァスタイン
康軒(2018)	4 下	閱讀開門	她是我姐姐(ぼくのお姉さん)	丘修三	小説	
康軒(2019)	5 上	1	拔一條河(綱引き)	楊力洲	叙事	
康軒(2019)	5 上	1	從空中看臺灣(空中から台湾を見る)	齊柏林	散文	
康軒(2019)	5 上	1	蚊帳大使	陳麗雲	説明文	
康軒(2019)	5 上	2	不一樣的醫生(様々な医者)	邱美婉	報道	
康軒(2019)	5 上	2	分享的力量(分かち合う力)	許哲銘	説明文	
康軒(2019)	5 上	2	田裡的魔法師(田んぼの魔法使い)	鄒敦伶	説明文	伝記・西瓜大王・陳文郁
康軒(2019)	5 上	2	從失敗中覺悟(失敗の中から気づく)	王溢嘉	説明文	伝記
康軒(2019)	5 上	閱讀階梯	永不掉落的葉子(最後の一葉)	歐・亨利	小説	オー・ヘンリー
康軒(2019)	5 上	3	火星人,你好嗎?(火星人、こんにちは)		小説	SF
康軒(2019)	5 上	3	溪谷間的野鳥(溪谷の間の野鳥)	劉克襄	散文	
康軒(2019)	5 上	3	海豚	葉建戎	散文	
康軒(2019)	5 上	4	你想做人魚嗎?(人魚になりたいか)	余光中	詩	
康軒(2019)	5 上	4	衝破逆境(逆境を突き破る)	劉俠	散文	
康軒(2019)	5 上	4	想念的季節(思いをはせる季節)	王維等	詩	古典・王維「送別」
康軒(2019)	5 上	4	小樹(リトル・トリー)	佛瑞斯特・卡特 姚宏昌訳	小説	フォレスト・カーター
康軒(2019)	5 上	閱讀階梯	珍惜水資源(水資源を大切に)		説明文	
康軒(2019)	5 下	1	名人記趣(名人の様々)	馮輝岳	説明文	伝記
康軒(2019)	5 下	1	秋江獨釣	馬景賢	詩	古典・紀曉嵐(清代)
康軒(2019)	5 下	1	智救養馬人(馬を養う人を救う)	洪志明	故事	古典・「晏子春秋」
康軒(2019)	5 下	2	故宮控「寶」趣(故宮で「宝」への興味がわく)	故宮博物院	説明文	劇
康軒(2019)	5 下	2	恆久的美(恒久の美)	蔣勳	散文	ミレー
康軒(2019)	5 下	2	戲迷(お芝居好き)		故事	

康軒(2019)	5下	2	舞動美麗の人生(舞う美しい人生)	張麗玉	散文	
康軒(2019)	5下	閱讀階梯	要挑最大的(一番大きいものを選ぶ)		故事	ソクラテス
康軒(2019)	5下	3	動物的尾巴(動物のしっぽ)	馮輝岳	説明文	
康軒(2019)	5下	3	生命中的「大石頭」(生命の中の「大きな石」)	張嘉驊	敘事	
康軒(2019)	5下	3	果真如此嗎?(本当にそうなのかな)		敘事	
康軒(2019)	5下	4	湖光山色	宋・蘇軾	詩	古典・「飲湖上初晴後雨」「題西林壁」
康軒(2019)	5下	4	田園交響曲	詹冰	詩	
康軒(2019)	5下	4	山豬學校・飛鼠大學(イノシシ学校・モモンガ大学)	亞榮隆・撒可怒	散文	台湾原住民作家
康軒(2019)	5下	4	湖濱散記(湖畔の出來事)	亨利・大衛・梭羅	散文	ソロー『ウォールデン 森の生活』から
康軒(2019)	5下	閱讀階梯	蜘蛛的電報線(蜘蛛の電話線)	法布爾	説明文	ファーブル昆虫記
康軒(2018)	6上	1	神奇的藍絲帶(不思議な青いリボン)	張雅惠	説明文	
康軒(2018)	6上	1	跑道(リレーを走る)	陳肇宜	小説	
康軒(2018)	6上	1	說話也要停看聽(話していてもしっかり見て聞く)	林慶昭	敘事	
康軒(2018)	6上	1	朱子治家格言選	清朱柏廬	故事	古典
康軒(2018)	6上	2	山的巡禮(山の巡礼)	林煥彰	詩	台湾
康軒(2018)	6上	2	東海岸鐵路(東海岸線鉄道)	郝譽翔	散文(紀行)	台湾
康軒(2018)	6上	2	沉城之謎(沈んだ町の謎)	謝新曦	説明文	台湾澎湖
康軒(2018)	6上	閱讀階梯一	進入雨林(雨林を進む)	徐仁修	散文(紀行)	インドネシア・カリマンタン
康軒(2018)	6上	3	大小剛好的鞋子(大きさがぴったりの靴)	褚士瑩	説明文	ビルマの靴
康軒(2018)	6上	3	沉思三帖(思うこと三つ)	馮輝岳	故事	
康軒(2018)	6上	3	狐假虎威(虎の威をかる狐)	戰國策	古典(故事)	
康軒(2018)	6上	4	我願(雨ニモ負ケズ)	宮沢賢治、游珮芸訳	詩	
康軒(2018)	6上	4	最好的味覺禮物(最もおいしい贈り物)	張曼娟	散文	
康軒(2018)	6上	4	空城計	羅貫中、黃秀精改寫	小説	古典(歴史小説・リライト)三国演義
康軒(2018)	6上	4	桂花雨(金木犀の雨)	琦君	散文	
康軒(2018)	6上	閱讀階梯二	故事的真相(物語の真相)		説明文	
康軒(2018)	6下	1	過故人莊	孟浩然	詩	古典・過故人莊
康軒(2018)	6下	1	把愛傳下去(愛が伝わっていく)	林麗麗	記叙文	「セデックバレ」の俳優・林慶台、プロ野球選手の林智勝
康軒(2018)	6下	1	山村車軌寮	向陽	散文	台湾南投・車軌寮
康軒(2018)	6下	2	迷途(道に迷う)	黃雅欽	散文	紀行
康軒(2018)	6下	2	馬達加斯加、出發!(マダガスカル、出発)	黃仕傑	散文	紀行
康軒(2018)	6下	2	劍橋秋日漫步(ケンブリッジの秋の日の散歩)	桂文垂	散文	紀行
康軒(2018)	6下	閱讀階梯	驚蟄驅蟻記(啓蟄にアリを駆除する)	洪雅齡	散文	
康軒(2018)	6下	3	油條報紙,文字夢 (新聞を読む、文字の夢)	李潼	散文	
康軒(2018)	6下	3	雕刻一座小島(小島を彫刻する)	張嘉驊	散文	
康軒(2018)	6下	3	童年,夏日,棉花糖(子どもの頃、夏の日、綿あめ)	陳幸蕙	散文	
康軒(2018)	6下	4	追夢的翅膀(夢を追う翼)	游乾桂	記叙文	
康軒(2018)	6下	4	祝賀你,孩子(おめでとう、子どもたち)	莊因	記叙文	
康軒(2018)	6下	閱讀階梯	桃花源	陶淵明	詩	古典